

# 調査結果の概要



# I 学 校 調 査

## 1 幼 稚 園

### (1) 園 数 (表 1, 2, 図 1)

- ① 園数は100園（本園100園）で、廃園が2園となっており、前年度より2園減少している。
- ② 園数を設置者別にみると、国立1園、公立66園（市立50園、町立16園）、私立33園（学校法人立32園、個人立1園）となっている。
- ③ 全幼稚園のうち、国・公立の占める割合は67.0%である。なお、全国平均は29.2%となっている。

表 1 幼稚園の設置者別園数

(単位：園)

区 分	計	国 立 (本園)	公 立			私 立	
			市 立 本 園	町 立		学 校 法人立 (本園)	個 人立 (本園)
				本 園	分 園		
令和3年度	115	1	62	19	-	32	1
4	108	1	58	16	-	32	1
5	108	1	58	16	-	32	1
6	102	1	52	16	-	32	1
7	100	1	50	16	-	32	1

- ④ 在園者数から園の規模をみると、50人以下が61園（全幼稚園数の61.0%）、51～100人が16園（同16.0%）、101～150人が16園（同16.0%）等となっており、100人以下の幼稚園が全体の77.0%を占めている。

表 2 幼稚園の在園者数別園数

(単位：園・%)

区 分	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度			
	総数	割合	国・公立	私立																
総 数	115	100.0	82	33	108	100.0	75	33	108	100.0	75	33	102	100.0	69	33	100	100.0	67	33
50人以下	60	52.2	56	4	59	54.6	56	3	66	61.1	64	2	64	62.7	60	4	61	61.0	55	6
51～100	26	22.6	18	8	21	19.4	12	9	16	14.8	6	10	14	13.7	4	10	16	16.0	8	8
101～150	13	11.3	5	8	15	13.9	6	9	14	13.0	4	10	16	15.7	4	12	16	16.0	3	13
151～200	10	8.7	2	8	8	7.4	-	8	8	7.4	-	8	5	4.9	1	4	4	4.0	1	3
201～250	4	3.5	1	3	3	2.8	1	2	3	2.8	1	2	2	2.0	-	2	2	2.0	-	2
251～300	2	1.7	-	2	2	1.9	-	2	1	0.9	-	1	1	1.0	-	1	1	1.0	-	1
301人以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- ⑤ 編制方式別でみると、3歳児と4歳児と5歳児で編制している園が90園、4歳児と5歳児で編制している園が6園、3歳児と4歳児で編制している園が0園、3歳児と5歳児で編制している園が1園、5歳児のみで編制している園が0園である。(休園中が3園)

## (2) 学級数

- ① 学級数は441学級(国立5学級、公立193学級、私立243学級)で、前年度より13学級減少している。
- ② 1学級当たりの園児数は13.0人で、前年度より0.5人減少している。

## (3) 在園者数(表3, 図2, 3, 4)

- ① 在園者数は5,727人(男2,835人、女2,892人)で、前年度より391人減少(男202人減少、女189人減少)している。

図1 幼稚園の編成方式別構成比

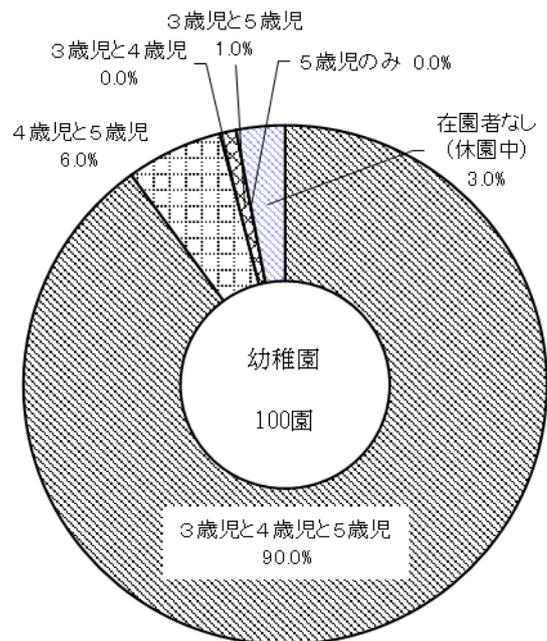


表3 幼稚園の年齢別在園者数及び修了者数

(単位：人)

区分	総数			3歳児		4歳児		5歳児		前年度修了者		
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	計	男	女
令和3年度	8,261	4,155	4,106	1,242	1,216	1,461	1,384	1,452	1,506	3,425	1,765	1,660
4	7,450	3,774	3,676	1,091	1,104	1,262	1,237	1,421	1,335	2,963	1,457	1,506
5	6,823	3,404	3,419	992	1,015	1,121	1,134	1,291	1,270	2,758	1,414	1,344
6	6,118	3,037	3,081	899	921	1,008	1,036	1,130	1,124	2,556	1,284	1,272
7	5,727	2,835	2,892	873	888	933	930	1,029	1,074	2,268	1,142	1,126

- ② 設置者別にみると、国立116人(全在園者数の2.0%)、公立2,024人(同35.3%)、私立3,587人(同62.6%)となっている。
- ③ 年齢別にみると、3歳児1,761人(全在園者数の30.7%)、4歳児1,863人(同32.5%)、5歳児2,103人(同36.7%)となっている。
- ④ 小学校、義務教育学校及び特別支援学校(小学部)第1学年児童数に対する幼稚園修了者数の割合(就園率)は32.6%で、前年度より2.4ポイント低下している。なお、全国平均は31.1%で、本県は全国第12位となっている。

図2 設置者別在園者数構成比

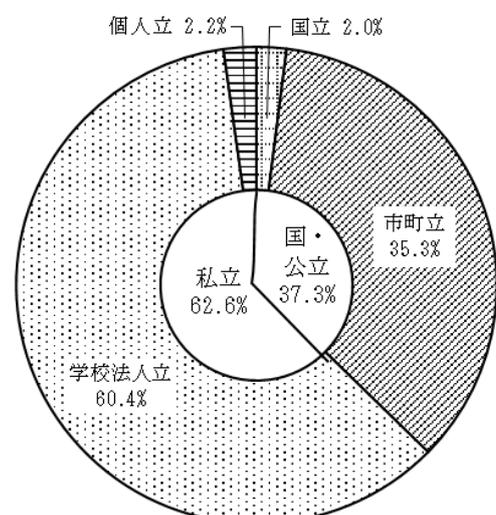


図3 幼稚園の就園率の推移

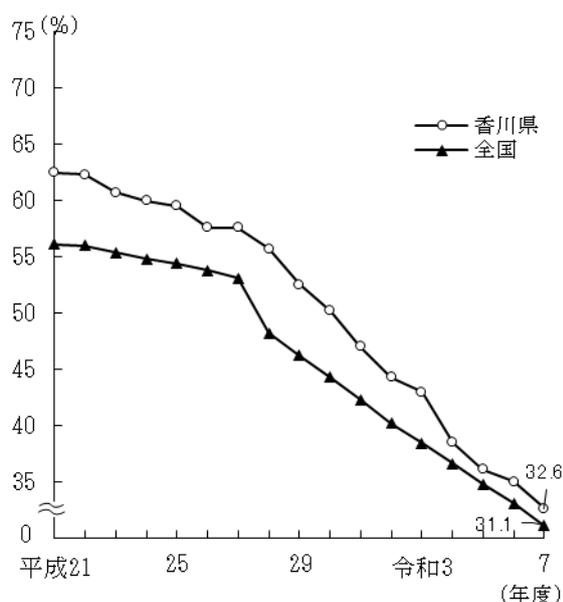
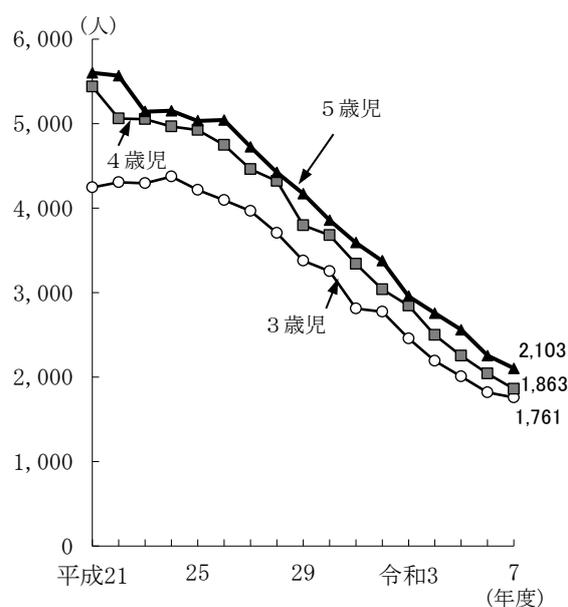


図4 幼稚園の年齢別在園者数の推移



(4) 教員数(表4, 図5, 6)

- ① 教員数(本務者)は781人(国立7人、公立319人、私立455人)で、前年度より15人増加している。
- ② 教員数(本務者)のうち、女性教員の占める割合は96.0%で、前年度より0.3ポイント上昇している。
- ③ 本務教員一人当たりの園児数は7.3人で、前年度より0.7人減少している。なお、全国平均は8.6人で、前年度より0.6人減少している。

表4 幼稚園の職名別教員数(本務者)

(単位:人)

区分	総数			園長		副園長		教頭		主幹教諭		指導教諭		教諭		助教諭		養護教諭		養護助教諭		栄養教諭		講師		
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
令和3年度	862	44	818	20	77	4	17	-	16	1	27	2	17	628	-	3	1	-	2	47						
4	797	35	762	15	74	5	17	-	15	1	30	2	13	581	2	2	1	-	1	38						
5	800	37	763	16	74	4	18	-	14	2	32	1	15	579	-	2	1	-	-	42						
6	766	33	733	14	74	4	18	-	17	2	29	2	13	546	-	2	1	1	-	43						
7	781	31	750	13	75	6	20	-	16	2	30	2	10	550	-	2	-	2	-	53						

図5 幼稚園教員(本務者)1人当たり園児数

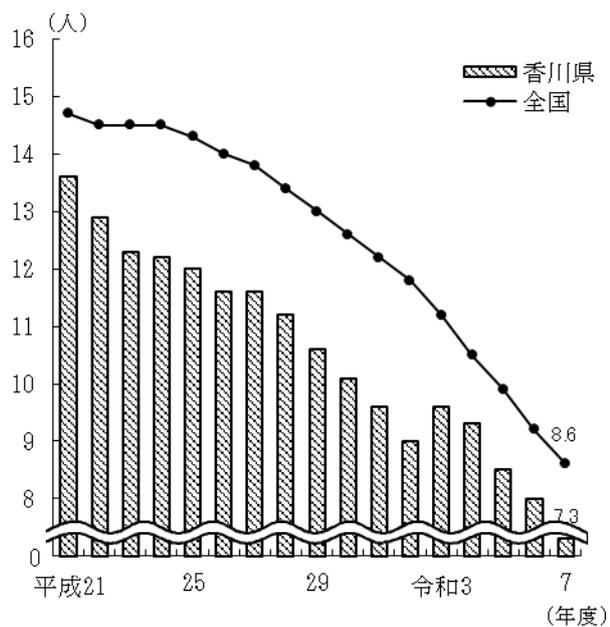
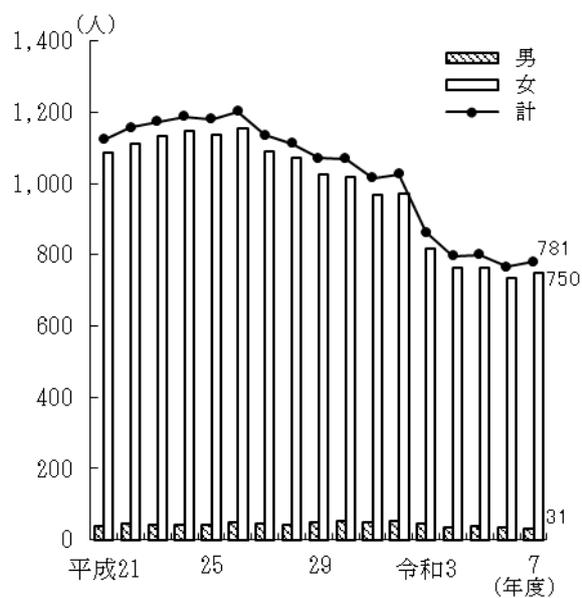


図6 幼稚園教員数(本務者)の推移



(5) 職員数(表5)

① 職員数(本務者)は92人(国立0人、公立24人、私立68人)で、前年度より8人減少している。

表5 幼稚園の職名別職員数(本務者)

(単位:人)

区分	総数			事務職員		養護教員 (看護師等)		用務員・警備員 ・その他	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女
令和3年度	105	32	73	12	45	-	2	20	26
4	108	36	72	14	44	-	2	22	26
5	99	35	64	13	43	-	2	22	19
6	100	31	69	12	43	-	1	19	25
7	92	31	61	13	39	-	1	18	21

## 2 幼保連携型認定こども園

### (1) 園 数 (表 6, 7)

- ① 園数は91園（本園90園、分園1園）で、前年度より1園増加（幼稚園・保育所の統合が2園）している。
- ② 園数を設置者別にみると、公立45園（市立31園、町立14園）、私立46園（学校法人立3園、社会福祉法人立43園）となっている。
- ③ 全園数のうち、公立の占める割合は49.5%である。なお、全国平均は13.9%となっている。

表 6 幼保連携型認定こども園の設置者別園数

(単位：園)

区 分	計	公 立				私 立			
		市 立		町 立		学校法人立		社会福祉法人立	
		本 園	分 園	本 園	分 園	本 園	分 園	本 園	分 園
令和3年度	77	24	-	12	1	3	-	36	1
4	84	27	-	14	-	3	-	39	1
5	84	27	-	14	-	3	-	39	1
6	90	30	-	14	-	3	-	42	1
7	91	31	-	14	-	3	-	42	1

- ④ 3歳児～5歳児の在園者数から園の規模をみると、50人以下が31園（全園数の34.1%）、51～100人が44園（同48.4%）、101～150人が11園（同12.1%）等となっており、100人以下の園が全体の82.4%を占めている。

表 7 幼保連携型認定こども園の在園者数別園数

(単位：園・%)

区 分	令和3年度				令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度			
	総数	割合	国・公立	私立	総数	割合	公立	私立												
総 数	77	100.0	37	40	84	100.0	41	43	84	100.0	41	43	90	100.0	44	46	91	100.0	45	46
50人以下	18	23.4	9	9	20	23.8	12	8	19	22.6	12	7	25	27.8	17	8	31	34.1	20	11
51～100	40	51.9	14	26	44	52.4	16	28	47	56.0	17	30	48	53.3	15	33	44	48.4	14	30
101～150	12	15.6	8	4	15	17.9	9	6	13	15.5	8	5	12	13.3	8	4	11	12.1	7	4
151～200	5	6.5	5	-	3	3.6	3	-	3	3.6	3	-	3	3.3	3	-	3	3.3	3	-
201人以上	2	2.6	1	1	2	2.4	1	1	2	2.4	1	1	2	2.2	1	1	2	2.2	1	1

- ⑤ 編制方式別でみると、3歳児と4歳児と5歳児で編制している園が90園である。（1園は3歳児～5歳児が不在）

### (2) 学 級 数

- ① 学級数は381学級（公立213学級、私立168学級）となっており、前年度より10学級増加している。
- ② 1学級当たりの3歳～5歳の園児数は17.4人で、前年度より0.8人減少している。

### (3) 在園者数(表8, 図7)

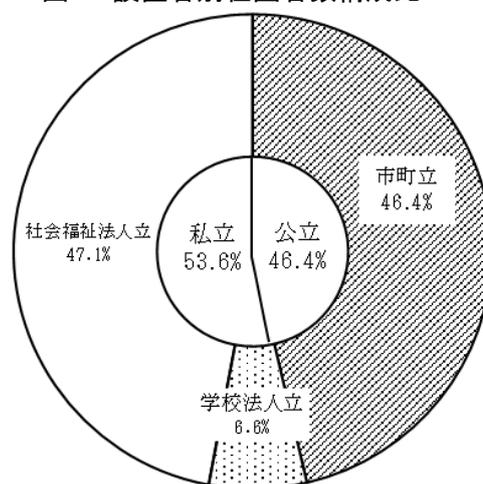
① 在園者数は10,023人(男5,185人、女4,838人)で、前年度より282人減少(男50人減少、女232人減少)している。

表8 幼保連携型認定こども園の年齢別在園者数

区分	(単位:人)															
	総数			0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
令和3年度	9,445	4,877	4,568	186	216	658	576	718	742	1,098	1,028	1,075	1,021	1,142	985	
4	10,147	5,160	4,987	219	208	670	683	833	728	1,086	1,137	1,175	1,077	1,177	1,154	
5	9,798	5,023	4,775	180	176	714	659	765	737	1,097	1,003	1,088	1,138	1,179	1,062	
6	10,305	5,235	5,070	217	214	700	702	901	810	1,106	1,081	1,146	1,055	1,165	1,208	
7	10,023	5,185	4,838	229	175	727	680	790	781	1,173	1,051	1,106	1,085	1,160	1,066	

- ② 設置者別にみると、公立4,647人(全在園者数の46.4%)、私立5,376人(同53.6%)となっている。
- ③ 年齢別にみると、0歳児404人(全在園者数の4.0%)、1歳児1,407人(同14.0%)、2歳児1,571人(同15.7%)、3歳児2,224人(同22.2%)、4歳児2,191人(同21.9%)、5歳児2,226人(同22.2%)となっている。

図7 設置者別在園者数構成比



### (4) 教育・保育職員数(表9)

- ① 教育・保育職員数(本務者)は1,877人(公立809人、私立1068人)で、前年度より59人増加している。
- ② 教育・保育職員数(本務者)のうち、女性教員の占める割合は95.5%で、前年度より0.1ポイント上昇している。
- ③ 本務教育・保育職員一人当たりの園児数(0~5歳児)は5.3人で前年度より0.4人減少している。なお、全国平均は5.6人である。

表9 幼保連携型認定こども園の職名別教育・保育職員数(本務者)

区分	(単位:人)																								
	総数			園長		副園長		教頭		主幹保育教諭		指導保育教諭		保育教諭		助保育教諭		養護教諭		主幹栄養教諭		栄養教諭		講師	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
令和3年度	1,528	68	1,460	18	56	3	47	1	5	4	72	-	17	40	1,203	-	10	1	-	1	-	21	1	28	
4	1,718	76	1,642	18	63	6	55	1	4	3	79	-	14	45	1,346	-	10	1	2	1	-	22	2	46	
5	1,705	78	1,627	17	64	8	51	1	6	3	82	1	12	45	1,320	-	14	1	1	1	-	23	2	53	
6	1,818	83	1,735	18	69	6	64	1	7	4	92	-	6	51	1,404	-	15	1	2	1	-	20	2	55	
7	1,877	84	1,793	19	69	8	64	1	9	4	92	-	6	50	1,449	-	17	-	3	2	1	28	1	54	

(5) 職 員 数 (表 10)

① 職員数(本務者)は362人(公立166人、私立196人)で、前年度より20人増加している。

表10 幼保連携型認定こども園の職名別職員数(本務者)

(単位:人)

区 分	総 数			事務職員		養護職員 (看護師等)		調理員		用務員 ・警備員 ・その他	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
令和3年度	284	25	259	14	38	-	22	3	180	8	19
4	306	22	284	12	43	-	18	4	200	6	23
5	317	27	290	14	41	-	22	4	206	9	21
6	342	32	310	14	44	-	25	5	220	13	21
7	362	36	326	13	53	2	28	5	224	16	21

### 3 小 学 校

#### (1) 学 校 数 (表 11, 12, 13)

- ① 学校数は159校（本校156校、分校3校）で、新設及び廃校はなく前年度と同数である。
- ② 学校数を設置者別にみると、国立2校、公立157校（市立126校、町立31校）となっている。

表11 小学校の設置者別学校数

(単位：校)

区 分	総 数			国立 (本校)	公 立					(再掲) 公立小学校 へき地等の指定学校		
					計	市 立		町 立				
	計	本校	分校			本校	分校	本校	分校			
令和3年度	160	158	2	2	158	125	2	31	-	13	12	1
4	159	157	2	2	157	124	2	31	-	15	14	1
5	160	157	3	2	158	124	3	31	-	15	14	1
6	159	156	3	2	157	123	3	31	-	14	13	1
7	159	156	3	2	157	123	3	31	-	14	13	1

- ③ 公立校のうち、へき地等指定学校は14校で、前年度と同数である。全公立校に占める割合は8.9%である。

表12 小学校(公立)のへき地等指定学校の学校数・児童数及び教職員数

(単位：校・人)

区 分	学 校 数			児 童 数			教 員 数 (本 務 者)			負 担 法 に よ る 事 務 職 員 数 (本 務 者)		
	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校
総 数	14	13	1	647	647	-	97	97	-	6	6	-
特 別 地	4	4	-	488	488	-	59	59	-	4	4	-
準 へ き 地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1 級	5	4	1	144	144	-	24	24	-	2	2	-
2 級	3	3	-	11	11	-	9	9	-	-	-	-
3 級	1	1	-	4	4	-	5	5	-	-	-	-
4 級	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：へき地性は、特別地より準へき地、準へき地より1級・・・となるにつれてだんだん強くなる。

- ④ 特別支援学級を置く学校は147校(本校)で、全学校数に占める割合は92.5%となっている。
- ⑤ 学校の規模(本校のみ)を学級数で見ると、11学級以下の小規模校は76校(本校数の48.7%)、次いで12~18学級の標準校34校(同21.8%)、19学級以上の大規模校46校(同29.5%)となっている。また、県内の大規模校のうち、58.7%は高松市にある。

表13 小学校の規模別学校数（本校のみ）

(単位:校・%)

区 分	総 数		規 模 別 区 分							
			11学級以下		12～18学級		19～24学級		25学級以上	
	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合
令和3年度	158	100.0	68	43.0	46	29.1	24	15.2	20	12.7
4	157	100.0	68	43.3	44	28.0	27	17.2	18	11.5
5	157	100.0	70	44.6	41	26.1	27	17.2	19	12.1
6	156	100.0	71	45.5	38	24.4	26	16.7	21	13.5
7	156	100.0	76	48.7	34	21.8	25	16.0	21	13.5

(2) 学 級 数 (表 14)

- ① 学級数は2,306学級で、前年度より1学級増加している。
- ② 学級数を編制方式別にみると、単式学級1,681学級（全学級数の72.9%）、複式学級12学級（同0.5%）、特別支援学級613学級（同26.6%）となっており、前年度より単式学級で29学級減少、複式学級で同数、特別支援学級で30学級増加している。
- ③ 1学級当たりの児童数は19.6人で、前年度より0.6人減少している。

表14 小学校の編制方式別学級数

(単位:学級・%)

区 分	総 数		単式学級		複式学級		特別支援学級	
	学級数	割合	学級数	割合	学級数	割合	学級数	割合
令和3年度	2,308	100.0	1,794	77.7	6	0.3	508	22.0
4	2,309	100.0	1,761	76.3	7	0.3	541	23.4
5	2,328	100.0	1,745	75.0	8	0.3	575	24.7
6	2,305	100.0	1,710	74.2	12	0.5	583	25.3
7	2,306	100.0	1,681	72.9	12	0.5	613	26.6

図8 小学校の推移

(3) 児 童 数 (図8, 表15, 16, 17)

- ① 児童数は45,173人（男23,118人、女22,055人）で、前年度より1,275人減少（男684人減少、女591人減少）している。児童数は昭和58年度以降減少傾向が続き、平成21年度以降は毎年度過去最低を更新している。
- ② 小学校第1学年の児童数は、6,867人（男3,451人、女3,416人）で、前年度より375人減少（男298人減少、女77人減少）している。

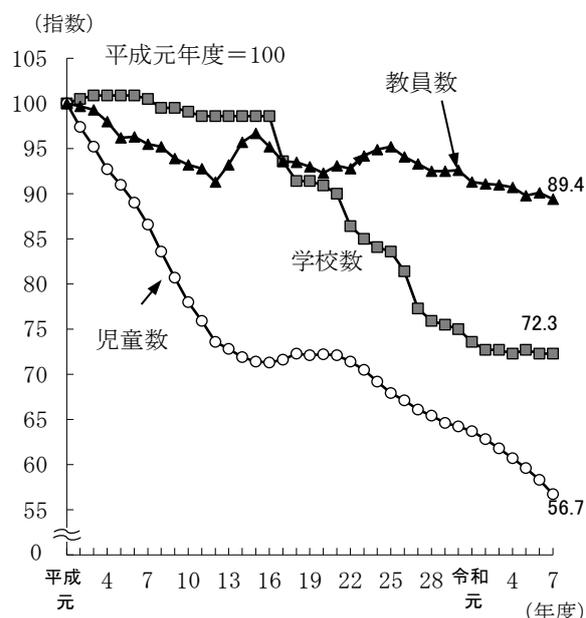


表15 小学校の児童数

(単位:人)

区 分	総 数			1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
	計	国立	公立						
令和3年度	49,196	1,029	48,167	7,903	8,084	8,125	8,338	8,300	8,446
4	48,312	1,037	47,275	7,632	7,896	8,072	8,098	8,311	8,303
5	47,498	1,033	46,465	7,573	7,620	7,897	8,032	8,100	8,276
6	46,448	1,034	45,414	7,242	7,561	7,613	7,884	8,050	8,098
7	45,173	1,017	44,156	6,867	7,240	7,546	7,607	7,866	8,047
内訳 男	23,118	508	22,610	3,451	3,748	3,841	3,929	4,039	4,110
女	22,055	509	21,546	3,416	3,492	3,705	3,678	3,827	3,937

③ 編制方式別にみると、単式学級の児童が42,463人で、全児童数に占める割合は94.0%となっている。

表16 小学校の編制方式別児童数

(単位:人・%)

区 分	総 数		単式学級		複式学級		特別支援学級	
	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合
令和3年度	49,196	100.0	47,248	96.0	21	0.0	1,927	3.9
4	48,312	100.0	46,156	95.5	24	0.0	2,132	4.4
5	47,498	100.0	45,154	95.1	33	0.1	2,311	4.9
6	46,448	100.0	43,908	94.5	72	0.2	2,468	5.3
7	45,173	100.0	42,463	94.0	46	0.1	2,664	5.9

④ 特別支援学級の児童数は2,664人で、前年度より196人増加している。この内訳は、自閉症・情緒障害が1,562人（特別支援学級全児童数の58.6%）、知的障害が942人（同35.4%）等となっている。

表17 小学校の種類別特別支援学級児童数

(単位:人・%)

区 分	総 数		知的障害		肢体不自由		病 弱・ 身体虚弱		弱 視		難 聴		自閉症・ 情緒障害	
	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合	児童数	割合
令和3年度	1,927	100.0	783	40.6	42	2.2	75	3.9	9	0.5	37	1.9	981	50.9
4	2,132	100.0	811	38.0	39	1.8	82	3.8	8	0.4	44	2.1	1,148	53.8
5	2,311	100.0	847	36.7	47	2.0	76	3.3	7	0.3	42	1.8	1,292	55.9
6	2,468	100.0	865	35.0	48	1.9	81	3.3	8	0.3	31	1.3	1,435	58.1
7	2,664	100.0	942	35.4	51	1.9	81	3.0	5	0.2	23	0.9	1,562	58.6

⑤ 外国人児童数は300人で、前年度より41人増加している。

⑥ 帰国児童数は16人で、前年度より12人減少している。

#### (4) 教 員 数 (表 18, 図 9, 10, 11)

① 教員数(本務者)は3,480人(男1,165人、女2,315人)で、前年度より26人減少(男2人増加、女28人減少)している。

表18 小学校の職名別教員数(本務者)

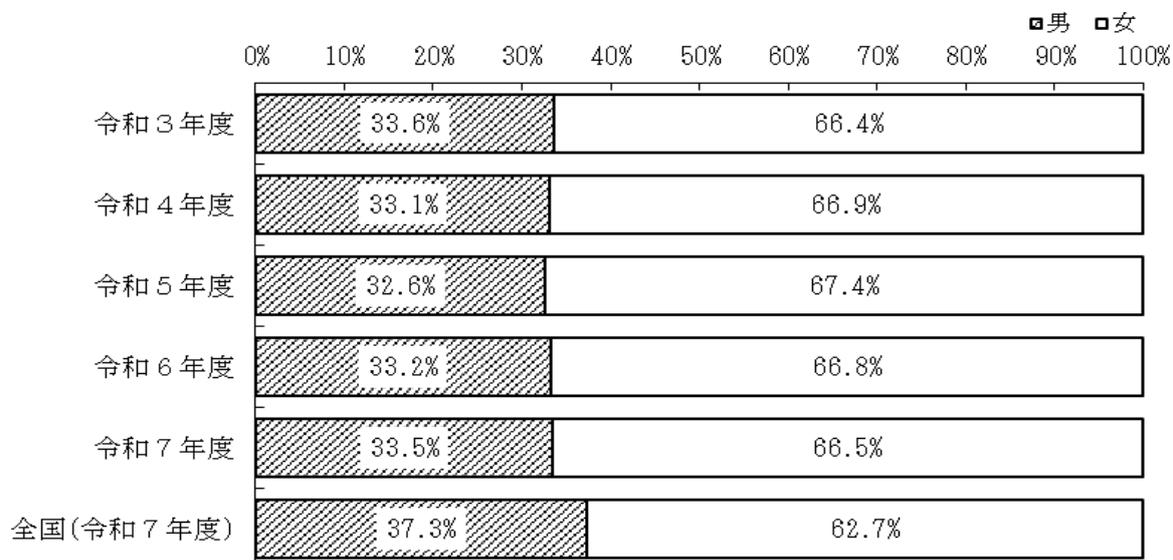
(単位:人)

区 分	総 数			校 長		副校長		教 頭		主幹教諭		指導教諭		教 諭		養 護 教 諭	養 護 助 教 諭	栄養教諭		講 師	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女	男	女	男	女
令和3年度	3,539	1,188	2,351	111	37	1	-	122	69	7	5	5	45	795	1,688	148	39	1	49	146	271
4	3,528	1,168	2,360	111	35	-	1	108	82	5	6	6	45	777	1,688	145	41	-	49	161	268
5	3,493	1,140	2,353	98	48	-	1	104	87	4	7	6	46	788	1,652	147	41	-	47	140	277
6	3,506	1,163	2,343	96	50	-	1	107	85	5	6	6	46	797	1,628	147	42	-	46	152	292
7	3,480	1,165	2,315	92	54	-	1	104	89	3	9	4	43	808	1,604	146	46	-	45	154	278

② 教員数(本務者)のうち、女性教員の占める割合は66.5%で前年度より0.3ポイント低下している。

また、全国平均は62.7%で、女性教員の占める割合で本県は全国第4位となっている。

図9 小学校本務教員の男女比率



③ 本務教員1人当たりの児童数は13.0人で、前年度より0.2人減少している。また、全国平均は13.7人となっている。

図10 小学校教員(本務者)1人当たり児童数

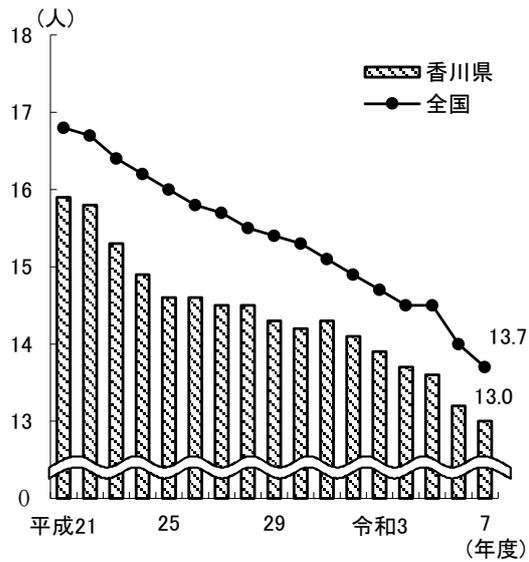
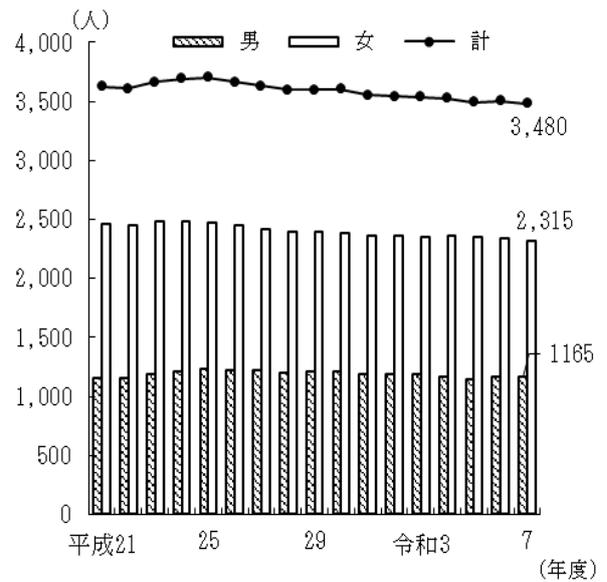


図11 小学校教員数(本務者)の推移



(5) 職員数(表19)

① 職員数(本務者)は473人(男78人、女395人)で、前年度より25人減少(男6人減少、女19人減少)している。

表19 小学校の職名別職員数(本務者)

(単位:人)

区分	総数			負担法による者						その他の者													
				事務職員		学校栄養員		表18以外の教員		事務職員		学図書校務		養護職員(看護師等)		学校栄養員		学校給食調理員		用務員		警備員・その他	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
令和3年度	583	101	482	20	173	-	6	8	19	1	17	-	12	-	-	-	-	32	100	26	60	14	95
4	566	100	466	21	171	-	9	2	17	1	17	-	12	-	1	-	-	34	91	28	55	14	93
5	498	94	404	18	166	-	10	3	14	1	17	-	8	-	1	-	1	34	87	26	54	12	46
6	498	84	414	16	174	-	9	-	12	2	15	-	12	-	2	-	-	29	80	27	51	10	59
7	473	78	395	18	171	-	10	-	12	1	15	-	9	-	2	-	-	29	75	19	49	11	52

注:「負担法による者」とは、都道府県費負担に係る都道府県立学校の職員及び市町村立学校職員給与負担法による職員をいう。

「表18以外の教員」とは、市町村費により給与が支給されている本務の教員のうち、関係諸法令に定める条件を満たしていない者をいう。

## 4 中 学 校

### (1) 学 校 数 (表 20, 21, 22)

- ① 学校数は73校（本校71校、分校2校）で、新設及び廃校はなく、前年度と同数である。
- ② 学校数を設置者別にみると、国立2校、公立66校（県立1校、市立54校、町立10校、組合立1校）、私立5校となっており、前年度と同数である。
- ③ 公立中学校のうち、1校において、令和4年度から夜間その他特別な時間において授業を行っている学級を併設している。

表20 中学校の設置者別学校数

(単位：校)

区 分	総 数			国立 (本校)	公 立						私立 (本校)	(再掲)公立中学校 へき地等の指定学校			
					計	県立 (本校)	市 立		町 立			組合立 (本校)	計	本校	分校
	本校	分校	本校				分校								
令和3年度	75	74	1	2	68	1	54	1	11	-	1	5	9	9	-
4	74	73	1	2	67	1	54	1	10	-	1	5	9	9	-
5	75	73	2	2	68	1	54	2	10	-	1	5	9	9	-
6	73	71	2	2	66	1	52	2	10	-	1	5	8	8	-
7	73	71	2	2	66	1	52	2	10	-	1	5	8	8	-

- ④ 公立校のうち、へき地等指定学校は8校で、前年度と同数である。全公立校に占める割合は12.1%である。

表21 中学校(公立)のへき地等指定学校の学校数・生徒数及び教職員数

(単位：校・人)

区 分	学 校 数			生 徒 数			教員数 (本務者)			負担法による事務 職員数 (本務者)		
	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校	計	本校	分校
総 数	8	8	-	314	314	-	69	69	-	5	5	-
特 別 地	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
準 へ き 地	1	1	-	244	244	-	30	30	-	1	1	-
1 級	3	3	-	62	62	-	26	26	-	3	3	-
2 級	2	2	-	4	4	-	7	7	-	-	-	-
3 級	1	1	-	4	4	-	6	6	-	1	1	-
4 級	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：へき地性は、特別地より準へき地、準へき地より1級・となるにつれてだんだん強くなる。

- ⑤ 特別支援学級を置く学校は57校(本校)で、全学校数に占める割合は78.1%となっている。
- ⑥ 学校の規模(本校のみ)を学級数でみると、11学級以下の小規模校は31校(本校数の43.7%)、12~18学級の標準校22校(同31.0%)、19学級以上の大規模校18校(同25.4%)となっている。また、県内の大規模校のうち、66.7%は高松市にある。

表 22 中学校の規模別学校数（本校のみ）

(単位:校・%)

区 分	総 数		規 模 別 区 分							
			5学級以下		6～11学級		12～18学級		19学級以上	
	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合	学校数	割合
令和3年度	74	100.0	13	17.6	16	21.6	26	35.1	19	25.7
4	73	100.0	12	16.4	17	23.3	24	32.9	20	27.4
5	73	100.0	13	17.8	18	24.7	22	30.1	20	27.4
6	71	100.0	11	15.5	20	28.2	20	28.2	20	28.2
7	71	100.0	11	15.5	20	28.2	22	31.0	18	25.4

注：夜間その他特別な時間において授業を行っている学級にかかる「学級数」「生徒数」「教員数」は含まない。以降、各表について同じ。

(2) 学 級 数 (表 23)

- ① 学級数は993学級で、前年度より11学級増加している。
- ② 学級数を編制方式別にみると、単式学級771学級（全学級数の77.6%）、複式学級2学級（同0.2%）、特別支援学級220学級（同22.2%）となっており、前年度より単式学級は12学級減少、複式学級は同数、特別支援学級は23学級増加している。
- ③ 1学級当たりの生徒数は24.6人で、前年度より0.6人減少している。

表 23 中学校の編制方式別学級数

(単位:学級・%)

区 分	総 数		単式学級		複式学級		特別支援学級	
	学級数	割合	学級数	割合	学級数	割合	学級数	割合
令和3年度	998	100.0	815	81.7	1	0.1	182	18.2
4	999	100.0	815	81.6	2	0.2	182	18.2
5	984	100.0	796	80.9	1	0.1	187	19.0
6	982	100.0	783	79.7	2	0.2	197	20.1
7	993	100.0	771	77.6	2	0.2	220	22.2

(3) 生 徒 数 (図 12, 表 24, 25)

- ① 生徒数は24,388人（男12,474人、女11,914人）で、前年度より400人減少（男256人減少、女144人減少）している。生徒数は昭和63年度以降減少が続き、平成22年度に過去最低となった後、3年連続で増加したが、平成26年度から減少し、平成28年度以降は毎年度過去最低を更新していた。令和3年度は増加となったが、今年度は昨年度に引き続き減少し、過去最低を更新した。
- ② 中学校第1学年の生徒数は、7,971人（男4,029人、女3,942人）で、前年度より233人減少（男172人減少、女61人減少）している。

図 12 中学校の推移

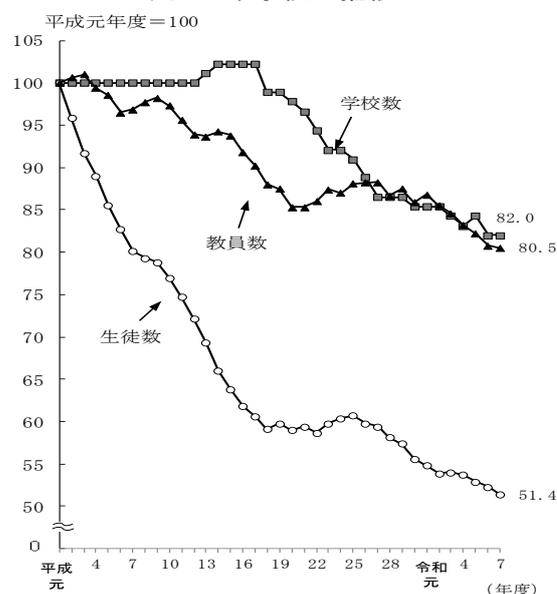


表24 中学校の生徒数

(単位:人)

区 分	総 数				1 学年	2 学年	3 学年
	計	国立	公立	私立			
令和3年度	25,629	628	24,056	945	8,548	8,545	8,536
4	25,469	628	23,962	879	8,376	8,549	8,544
5	25,113	629	23,600	884	8,225	8,371	8,517
6	24,788	624	23,278	886	8,204	8,219	8,365
7	24,388	615	22,879	894	7,971	8,193	8,224
内訳 男	12,474	308	11,730	436	4,029	4,198	4,247
女	11,914	307	11,149	458	3,942	3,995	3,977

③ 編制方式別生徒数をみると、単式学級の生徒数は23,486人で、全生徒数に占める割合は96.3%となっている。

④ 特別支援学級の生徒数は898人で、前年度より93人増加している。この内訳をみると、自閉症・情緒障害533人（特別支援学級全生徒数の59.4%）、知的障害が299人（同33.3%）等となっている。

表25 中学校の種類別特別支援学級生徒数

(単位:人・%)

区 分	総 数		知的障害		肢体不自由		病 弱・ 身体虚弱		弱 視		難 聴		自閉症・ 情緒障害	
	生徒数	割合	生徒数	割合	生徒数	割合	生徒数	割合	生徒数	割合	生徒数	割合	生徒数	割合
令和3年度	654	100.0	248	37.9	14	2.1	40	6.1	1	0.2	9	1.4	342	52.3
4	669	100.0	263	39.3	12	1.8	40	6.0	2	0.3	5	0.7	347	51.9
5	738	100.0	269	36.4	14	1.9	42	5.7	3	0.4	4	0.5	406	55.0
6	805	100.0	267	33.2	17	2.1	33	4.1	3	0.4	12	1.5	473	58.8
7	898	100.0	299	33.3	14	1.6	37	4.1	1	0.1	14	1.6	533	59.4

⑤ 外国人生徒数は107人で、前年度より12人減少している。

⑥ 帰国生徒数は4人で、前年度より4人減少している。

#### (4) 教 員 数 (表 26, 図 13, 14, 15)

① 教員数（本務者）は1,991人（男957人、女1,034人）で、前年度より8人減少（男21人減少、女13人増加）している。

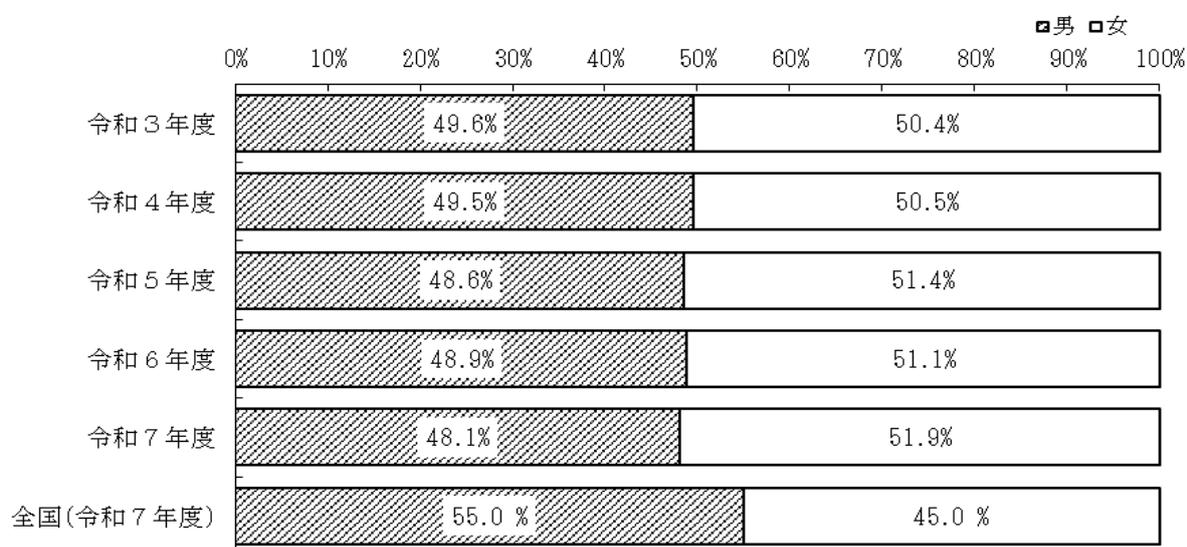
② 教員数（本務者）のうち、女性教員の占める割合は51.9%で、前年度より0.8ポイント上昇している。また、全国平均は45.0%で、女性教員の占める割合で本県は全国第2位となっている。

表26 中学校の職名別教員数（本務者）

（単位：人）

区 分	総 数			校 長		副校長		教 頭		主幹教諭		指導教諭		教 諭		養 護 教 諭	養 護 教 諭	栄養教諭		講 師	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女	男	女	男	女
令和3年度	2,094	1,038	1,056	61	3	4	-	86	25	6	2	9	21	776	812	65	12	1	22	95	94
4	2,059	1,019	1,040	59	3	4	-	83	26	4	3	6	22	768	787	67	11	2	21	93	100
5	2,033	989	1,044	58	3	5	-	77	28	6	1	6	22	745	782	65	14	2	22	90	107
6	1,999	978	1,021	56	4	5	-	76	29	4	3	5	21	743	770	61	15	2	19	87	99
7	1,991	957	1,034	53	8	4	-	70	36	4	2	5	23	733	771	61	20	2	18	86	95

図13 中学校本務教員の男女比率



③ 本務教員1人当たりの生徒数は12.2人で、前年度より0.2人減少している。また、全国平均は12.6人となっている。

図 14 中学校教員(本務者) 1人当たり生徒数

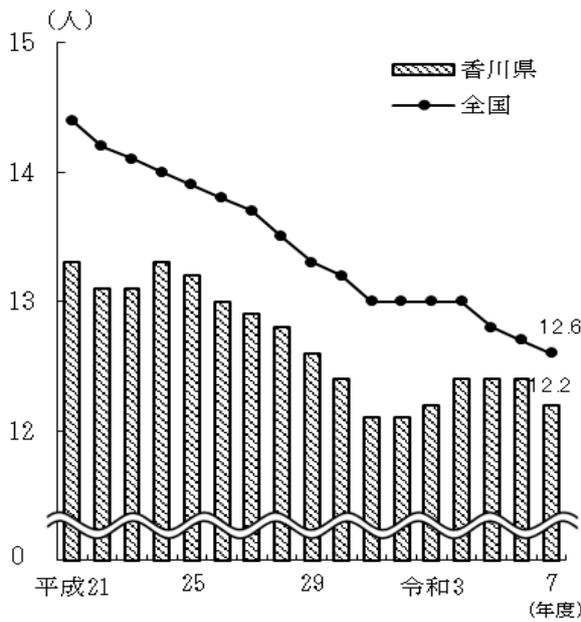
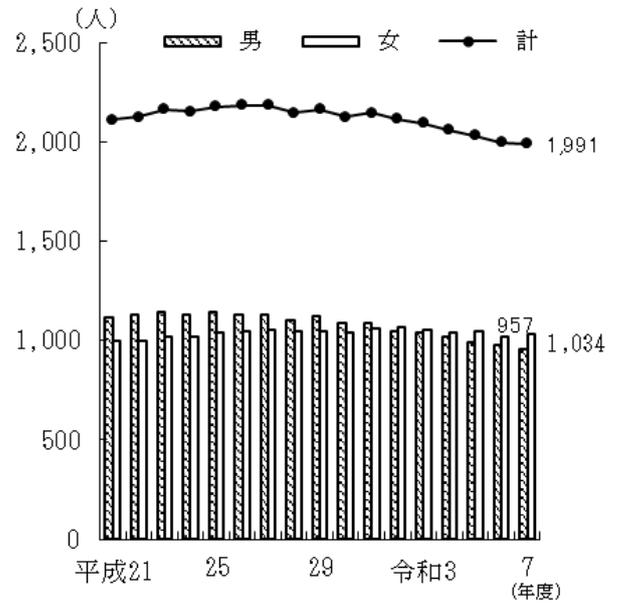


図 15 中学校教員数(本務者)の推移



(5) 職 員 数 (表 27)

① 職員数(本務者)は231人(男63人、女168人)で、前年度より12人増加(男6人増加、女6人増加)している。

表27 中学校の職名別職員数(本務者)

(単位:人)

区 分	総 数		負担法による者						そ の 他 の 者												
			事務職員		学校栄養職員		表26以外の教員		事務職員		学 校 学 校 学 校 学 校 学 校 学 校		給 食 理 用 務 員		警 備 員						
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
令和3年度	262	69	193	16	70	-	5	10	9	2	23	1	10	-	-	9	30	19	21	12	25
4	260	70	190	17	69	-	6	13	7	3	23	-	9	-	-	8	32	16	18	13	26
5	238	64	174	19	65	-	5	7	7	1	21	1	7	-	-	9	36	15	17	12	16
6	219	57	162	21	62	-	6	6	8	1	23	-	8	-	-	3	26	14	15	12	14
7	231	63	168	22	62	-	7	8	9	3	25	-	8	-	-	3	24	13	13	14	20

注:「負担法による者」とは、都道府県費負担に係る都道府県立学校の職員及び市町村立学校職員給与負担法による職員をいう。

「表26以外の教員」とは、市町村費により給与が支給されている本務の教員のうち、関係諸法令に定める条件を満たしていない者をいう。

## 5 高等学校

### (1) 学 校 数 (表 28, 図 16)

- ① 学校数は40校（本校40校）で、新設及び廃校はなく、前年度と同数である。
- ② 学校数を設置者別にみると、公立30校（県立29校、市立1校）、私立10校となっており、前年度と同じ構成である。

表28 高等学校の設置者別学校数

(単位：校)

区 分	総 数			公 立				私 立 (本校)
				計	県 立		市 立 (本校)	
	計	本 校	分 校					
令和3年度	40	40	-	30	29	-	1	10
4	40	40	-	30	29	-	1	10
5	40	40	-	30	29	-	1	10
6	40	40	-	30	29	-	1	10
7	40	40	-	30	29	-	1	10

- ③ 学校数を課程別にみると、全日制課程のみの学校31校（県立20校、市立1校、私立10校）、全日制・定時制の両課程を併置している学校9校（全て県立）となっている。
- ④ 学校の規模を生徒数でみると、全日制課程の学校40校（定時制課程併置校については全日制課程のみを対象）のうち、500人以下は19課程、501～1,000人は20課程、1,001人以上は1課程となっている。
- ⑤ 定時制課程の学校9校（全日制課程に併置されている学校において、定時制課程のみを対象）では、1～50人が9課程となっている。
- ⑥ 学校数を配置されている学科数でみると、単独校（1学科のみの学校）18校、総合校（2学科以上の学校）22校となっている。
- ⑦ 単独校では、普通科の学校が16校で一番多く、農業科、工業科がそれぞれ1校となっている。
- ⑧ 総合校では、普通科と職業科1学科を併置している学校が11校、職業科のみ2学科以上の学校7校、普通科と職業科2学科以上の学校1校、職業科1学科と総合学科を併置している学校2校、普通科と職業科1学科と総合学科を併置している学校1校となっている。
- ⑨ 男女共学別では、全ての学校で共学となっている。
- ⑩ 専攻科のある学校は5校（公立3校、私立2校）となっている。

図 16 単独・総合校数構成比

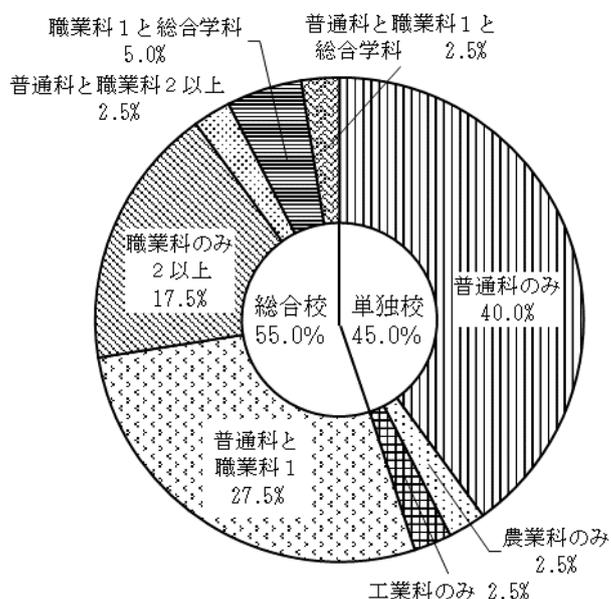


表29 高等学校の単独・総合別学校数

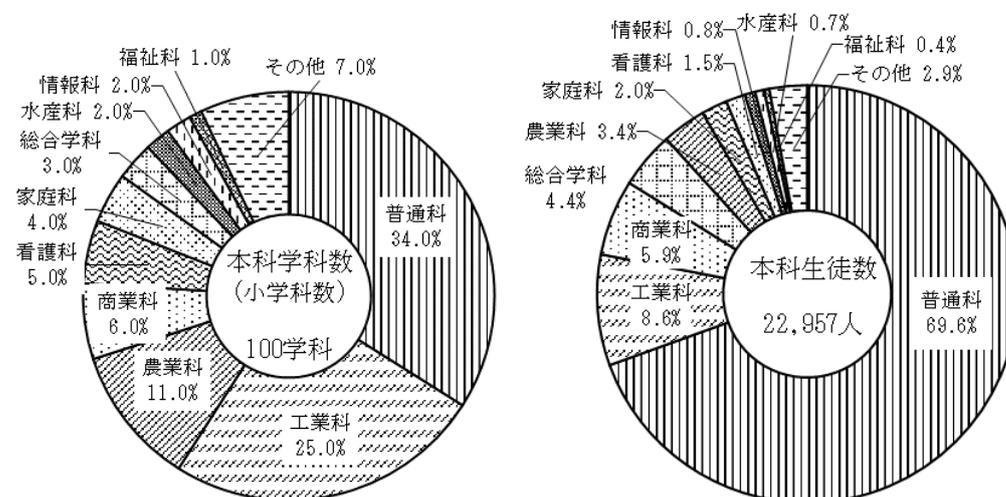
(単位：校)

区分	総数	単 独 校					総 合 校								
		計	普通科		農業	工業	総合	計	普通科と 職業科1		普通科と 職業科2以上		職業科 2以上	普通科と 職業科1 総合学 科	職業科1と 総合学科
			公立	私立	公立	公立	公立		公立	私立	公立	私立	公立	公立	公立
令和3年度	40	18	12	4	1	1	-	22	5	4	1	2	7	1	2
4	40	18	12	4	1	1	-	22	5	4	1	2	7	1	2
5	40	18	12	4	1	1	-	22	5	5	1	1	7	1	2
6	40	18	12	4	1	1	-	22	5	6	1	-	7	1	2
7	40	18	12	4	1	1	-	22	5	6	1	-	7	1	2

(2) 学 科 数 (図17)

- ① 学科数(本科学科数)は100学科(全日制88学科、定時制12学科)で、前年度と同数である。
- ② 学科別にみると、普通科34学科(全学科数の34.0%)が最も多く、次いで工業に関する学科25学科(同25.0%)、農業に関する学科11学科(同11.0%)、商業に関する学科6学科(同6.0%)、看護に関する学科5学科(同5.0%)、家庭に関する学科4学科(同4.0%)、総合学科3学科(同3.0%)、水産に関する学科、情報に関する学科がそれぞれ2学科(同2.0%)、福祉に関する学科1学科(同1.0%)、その他7学科(同7.0%)となっている。

図17 高等学校(本科)の学科数及び学科別生徒数の構成比



(3) 生 徒 数 (表30, 31, 図17)

- ① 生徒数は23,170人(男11,802人、女11,368人)で、前年度より180人減少(男18人減少、女162人減少)している。生徒数は平成3年度以降減少傾向にある中、平成26年度から3年連続で増加していたところであるが、今年度は9年連続で減少となった。  
また、全生徒のうち、本科の生徒数は22,957人、専攻科の生徒数は213人となっている。
- ② 全日制課程の生徒数は22,892人で、前年度より190人減少している。  
また、定時制課程の生徒数は278人で、前年度より10人増加している。

表30 高等学校の学年別生徒数

(単位：人)

区 分	総 数						(再掲) うち全日制				
	計	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	専攻科	計	1 学年	2 学年	3 学年	専攻科
令和3年度	24,657	8,025	8,235	8,133	47	217	24,398	7,963	8,147	8,071	217
4	24,212	8,034	7,825	8,064	60	229	23,945	7,962	7,772	7,982	229
5	23,658	7,981	7,781	7,608	69	219	23,380	7,896	7,707	7,558	219
6	23,350	7,803	7,724	7,572	42	209	23,082	7,728	7,635	7,510	209
7	23,170	7,798	7,590	7,519	50	213	22,892	7,718	7,515	7,446	213

③ 本科の生徒数を学科別にみると、普通科15,985人(本科の生徒数の69.6%)、工業に関する学科1,966人(同8.6%)、商業に関する学科1,347人(同5.9%)、総合学科1,000人(同4.4%)、農業に関する学科776人(同3.4%)、家庭に関する学科449人(同2.0%)、看護に関する学科348人(同1.5%)、情報に関する学科187人(同0.8%)、水産に関する学科154人(同0.7%)、福祉に関する学科88人(同0.4%)、その他657人(同2.9%)となっている。

表31 高等学校の学科別生徒数(本科)

(単位：人)

区 分	総 数			公 立					私 立			
				計	全 日 制		定 時 制		計	全 日 制		
	計	男	女		男	女	男	女				
総 数	22,957	11,780	11,177	17,161	8,384	8,499	160	118	5,796	3,236	2,560	
普 通 科	15,985	8,156	7,829	10,751	5,059	5,505	96	91	5,234	3,001	2,233	
職 業 科	農業科	776	493	283	776	493	283	-	-	-	-	-
	工業科	1,966	1,508	458	1,966	1,451	441	57	17	-	-	-
	商業科	1,347	581	766	1,152	449	686	7	10	195	125	70
	水産科	154	135	19	154	135	19	-	-	-	-	-
	家庭科	449	102	347	253	13	240	-	-	196	89	107
	看護科	348	30	318	177	9	168	-	-	171	21	150
	情報科	187	135	52	187	135	52	-	-	-	-	-
	福祉科	88	20	68	88	20	68	-	-	-	-	-
その他	657	248	409	657	248	409	-	-	-	-	-	
総合学科	1,000	372	628	1,000	372	628	-	-	-	-	-	

④ 外国人生徒数は59人で、前年度より2人減少している。

⑤ 入学状況(本科)をみると、入学志願者数は定時制課程を含め延べ21,441人で、前年度より335人減少している。

⑥ 入学者(本科)は7,788人(全日制課程7,712人、定時制課程76人)で、前年度より4人減少している。

#### (4) 教 員 数 (表 32, 図 18, 19)

- ① 教員数(本務者)は1,999人(公立1,531人、私立468人)で、前年度より2人減少している。
- ② 教員数(本務者)のうち女性教員の占める割合は42.5%で、前年度より0.6ポイント上昇している。また、全国平均は34.1%で、女性教員の占める割合で本県は全国第3位となっている。

表32 高等学校の職名別教員数(本務者)

(単位:人)

区 分	総 数			校 長		副校長		教 頭		主幹教諭		指導教諭		教 諭		助教諭		養護教諭	養 護 助教諭	講 師	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女	男	女
令和3年度	2,043	1,206	837	37	3	1	-	76	13	7	1	4	1	1,016	695	2	7	40	14	63	63
4	2,024	1,199	825	37	3	2	-	74	13	8	1	4	1	997	689	3	6	38	12	74	62
5	1,993	1,166	827	36	4	2	-	74	12	8	2	4	1	965	694	3	9	39	12	74	54
6	2,001	1,162	839	35	5	2	-	72	15	11	1	4	-	948	684	3	10	40	11	87	73
7	1,999	1,149	850	36	4	2	-	73	15	8	3	3	-	921	690	2	7	40	11	104	80

- ③ 本務教員1人当たりの生徒数は11.6人で、前年度より0.1人減少している。なお、全国平均は13.0人となっている。

図 18 高等学校教員(本務者)1人当たり生徒数

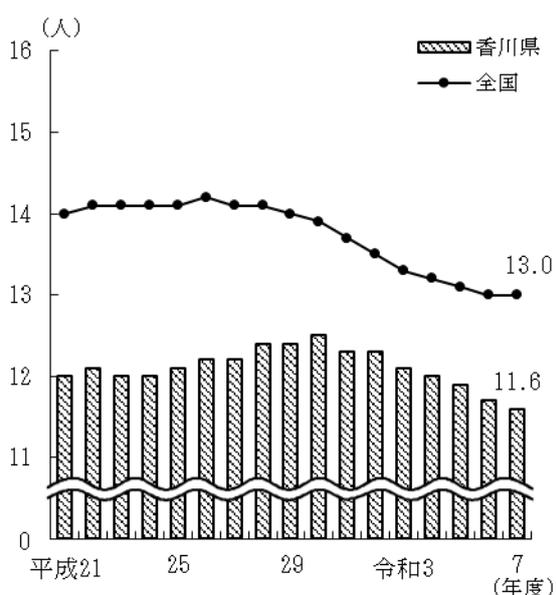
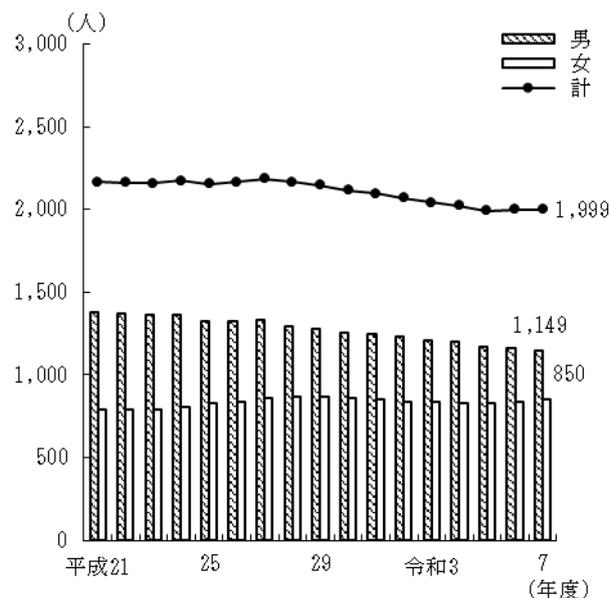


図 19 高等学校教員数(本務者)の推移



## (5) 職 員 数 (表 33)

- ① 職員数（本務者）は490人（公立378人、私立112人）で、前年度より5人増加している。

表33 高等学校の職名別職員数（本務者）

（単位：人）

区 分	総 数			事務職員				学 校 図 書 館 事 務 員		技 術 職 員		実 習 助 手		養 護 職 員	用 務 員		警 備 員 ・ そ の 他	
				主 事 ・ 主 事 補 等		そ の 他												
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	男	女	男	女
令和3年度	493	258	235	47	79	38	55	1	16	4	2	92	59	-	51	7	25	17
4	481	248	233	43	82	40	55	2	15	4	1	91	61	-	50	7	18	12
5	488	253	235	41	82	42	58	1	15	4	1	92	58	-	52	7	21	14
6	485	247	238	42	82	42	60	2	14	4	2	89	57	-	49	5	19	18
7	490	245	245	36	89	46	62	1	12	4	1	86	59	-	49	5	23	17

## (6) 高等学校通信制課程

- ① 通信制課程を置く学校は7校であり、普通科のみである。
- ② 学校数を設置者別にみると、公立2校、私立5校（うち独立校3校）となっている。
- ③ 在学者数は1,544人（男779人、女765人）で、前年度より30人増加（男18人増加、女12人増加）している。
- ④ 令和7年度（当該年度）の入学者は452人（男241人、女211人）で、前年度より34人増加（男36人増加、女2人減少）している。  
令和6年度間（前年度間）の入学者は687人（男341人、女346人）で、令和5年度間（前々年度間）より10人減少（男23人減少、女13人増加）している。
- ⑤ 教員数は202人（本務者65人、兼務者137人）で、前年度より8人増加している。
- ⑥ 職員数（本務者）は16人（男5人、女11人）で、前年度と同数（男1人増加、女1人減少）である。

## 6 特別支援学校

### (1) 学 校 数

- ① 学校数は10校で、新設及び廃校はなく、前年度と同数である。
- ② 学校数を設置者別にみると、国立1校、県立9校となっており、前年度と同数である。

### (2) 学 級 数 (表 34)

- ① 学級数は319学級で、前年度より4学級増加している。

### (3) 在 学 者 数 (表 34, 35)

- ① 在学者数は1,242人（男862人、女380人）で、前年度より41人増加（男46人増加、女5人減少）している。

表34 特別支援学校の学級数及び在学者数

(単位：学級・人)

区 分	学級数	在 学 者 数			在学者数の推移			
		総数	男	女	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総 数	319	1,242	862	380	1,173	1,180	1,176	1,201
幼 稚 部	7	14	11	3	15	20	18	18
小 学 部	121	434	315	119	365	389	386	400
中 学 部	93	363	247	116	312	313	332	328
高 等 部	98	431	289	142	481	458	440	455

- ② 障害種別内訳をみると、知的障害が845人（在学者総数の68.0%）、病弱・身体虚弱が35人（同2.8%）、肢体不自由が12人（同1.0%）、聴覚障害が10人（同0.8%）、視覚障害が7人（同0.6%）、その他が333人（同26.8%）となっている。

表35 特別支援学校の障害種別学級数及び在学者数

(単位：学級・人)

区 分	総 数		視覚障害		聴覚障害		知的障害		肢体不自由		病 弱・ 身体虚弱		その他	
	学級数	在 学 者 数	学級数	在 学 者 数	学級数	在 学 者 数	学級数	在 学 者 数	学級数	在 学 者 数	学級数	在 学 者 数	学級数	在 学 者 数
総 数	319	1,242	6	7	7	10	153	845	6	12	12	35	135	333
幼稚部	7	14	1	1	1	1	2	9	-	-	-	-	3	3
小学部	121	434	-	-	4	6	61	296	1	2	6	10	49	120
中学部	93	363	1	1	-	-	46	244	2	2	4	16	40	100
高等部	98	431	4	5	2	3	44	296	3	8	2	9	43	110

注：その他とは、複数の障害種別の組合せである。

### (4) 通 学 状 況 (表 36)

- ① 在学者の通学状況をみると、家庭からが1,122人（在学者総数の90.3%）、児童福祉施設からが54人（同4.3%）、寄宿舍からが38人（同3.1%）、国立療養所重心病棟からが28人（同2.3%）となっている。

表36 特別支援学校の通学状況

(単位：人・%)

区 分	総 数		寄 宿 舎		家 庭 (下宿を含む)		児 童 福 祉 施 設		国 立 療 養 所 重 心 病 棟		そ の 他 の 医 療 機 関	
	通学者数	割合	通学者数	割合	通学者数	割合	通学者数	割合	通学者数	割合	通学者数	割合
総 数	1,242	100.0	38	3.1	1,122	90.3	54	4.3	28	2.3	-	-
幼 稚 部	14	100.0	-	-	14	100.0	-	-	-	-	-	-
小 学 部	434	100.0	4	0.9	406	93.5	12	2.8	12	2.8	-	-
中 学 部	363	100.0	7	1.9	336	92.6	15	4.1	5	1.4	-	-
高 等 部	431	100.0	27	6.3	366	84.9	27	6.3	11	2.6	-	-

(5) 教 員 数 (表 37)

- ① 教員数(本務者)は723人(男241人、女482人)で、前年度より4人減少(男9人増加、女13人減少)している。
- ② 在学者数を本務教員数で割った本務教員1人当たりの在学者数は1.7人で、前年度と同数である。

表37 特別支援学校の職名別教員数(本務者)

(単位：人)

区 分	総 数			校 長		教 頭		主 幹 教 諭		指 導 教 諭		教 諭		養 護 教 諭	養 護 助 教 諭	栄 養 教 諭		講 師	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女	男	女	男	女
令和3年度	727	238	489	5	3	12	3	-	1	1	-	201	420	10	5	1	2	18	45
4	718	229	489	5	3	10	5	-	1	1	-	191	419	10	5	1	2	21	44
5	724	231	493	6	3	11	5	-	1	1	-	188	405	11	5	1	3	24	60
6	727	232	495	6	3	10	6	-	1	1	-	186	400	10	6	1	3	28	66
7	723	241	482	6	3	10	6	1	-	1	-	184	390	11	4	1	3	38	65

(6) 職 員 数 (表 38)

- ① 職員数(本務者)は156人(男63人、女93人)で、前年度より7人増加(男6人増加、女1人増加)している。

表38 特別支援学校の職名別職員数(本務者)

(単位：人)

区 分	総 数			負 担 法 に よ る 者					そ の 他 の 者									
				事 務 職 員		寄 宿 舎 指 導 員	学 校 栄 養 職 員	事 務 職 員	寄 宿 舎 指 導 員	実 習 助 手	養 護 職 員 ( 養 護 師 等 )	学 校 栄 養 職 員	用 務 員	警 備 員 ・ そ の 他				
	計	男	女	男	女	男	女	女	男	女	女	男	女	女	女	男	男	女
令和3年度	143	55	88	4	27	15	32	2	2	3	-	15	5	13	2	12	7	4
4	138	57	81	6	24	14	30	2	3	3	-	15	4	14	2	12	7	2
5	152	60	92	7	25	15	30	3	5	3	1	14	5	18	-	12	7	7
6	149	57	92	7	24	15	31	3	3	4	1	13	5	17	-	8	11	7
7	156	63	93	11	20	17	33	3	4	5	1	12	6	19	-	8	11	6

注：「負担法による者」とは、義務教育費国庫負担法及び市町村立学校職員給与負担法により都道府県費から給与が支給されている者をいう。

## 7 専修学校

### (1) 学 校 数 (表 39)

- ① 学校数は25校で、新設及び廃校はなく、前年度と同数である。
- ② 学校数を設置者別にみると、公立1校、私立24校（学校法人立12校、準学校法人立4校、社団法人立2校、その他の法人立4校、個人立2校）となっており、前年度と同じ構成である。
- ③ 類型別にみると、高等課程を置く学校が3校、専門課程を置く学校が24校となっている。

表39 専修学校の設置者別学校数

(単位：校)

区 分	総 数	国 立	公 立 (県立)	私 立				
				学 校 法人立	準学校 法人立	社 団 法人立	その他の 法 人 立	個人立
令和3年度	26	-	1	12	4	3	4	2
4	25	-	1	12	4	2	4	2
5	25	-	1	12	4	2	4	2
6	25	-	1	12	4	2	4	2
7	25	-	1	12	4	2	4	2

### (2) 学 科 数 (表 40, 42)

- ① 学科数は74学科で、前年度より4学科減少している。
- ② 課程別にみると、高等課程4学科、専門課程69学科、一般課程1学科となっている。
- ③ 学科別にみると、医療関係21学科(全学科数の28.4%)、文化・教養関係12学科(同16.2%)、工業関係12学科(同16.2%)、商業実務関係及び服飾・家政関係がそれぞれ8学科(同10.8%)、教育・社会福祉関係及び衛生関係がそれぞれ6学科(同8.1%)、農業関係1学科(同1.4%)となっている。

表40 専修学校の現況

(単位：学科・人)

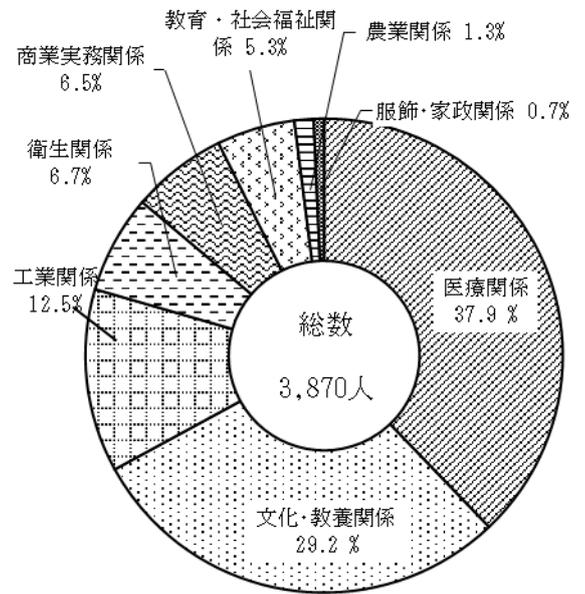
区 分	学 科 数			生 徒 数			教 員 数 (本務者)			職員数 (本務者)
	計	昼間	その他	計	男	女	計	男	女	
令和3年度	77	68	9	4,716	2,068	2,648	377	165	212	173
4	79	70	9	4,603	1,973	2,630	358	157	201	186
5	78	69	9	4,363	1,796	2,567	360	153	207	201
6	78	70	8	4,066	1,700	2,366	354	156	198	181
7	74	68	6	3,870	1,643	2,227	345	154	191	173

### (3) 生 徒 数 (表 40, 41, 42, 図 20)

- ① 生徒数は3,870人(男1,643人、女2,227人)で、前年度より196人減少(男57人減少、女139人減少)している。
- ② 課程別にみると、高等課程が74人(全生徒数の1.9%)、専門課程が3,197人(同82.6%)、一般課程が599人(同15.5%)となっている。

③ 学科別にみると、医療関係1,467人(全生徒数の37.9%)が最も多く、次いで文化・教養関係1,130人(同29.2%)、工業関係482人(同12.5%)、衛生関係259人(同6.7%)、商業実務関係252人(同6.5%)、教育・社会福祉関係204人(同5.3%)、農業関係49人(同1.3%)、服飾・家政関係27人(同0.7%)となっている。

図 20 専修学校の学科別生徒数の構成比



④ 男女別・学科別に主なものをみると、男は、文化・教養関係のうち受験・補習404人、工業関係のうち情報処理236人、医療関係のうち理学・作業療法164人、看護139人が多く、女は、医療関係のうち看護576人、文化・教養関係のうち受験・補習195人、医療関係のうち歯科衛生175人、医療関係のうち理学・作業療法131人が多くなっている。

表41 専修学校の学科別生徒数

(単位：人，( )内は%)

区分	総数	医療関係	文化・教養関係	工業関係	教育・社会福祉関係	衛生関係	商業実務関係	農業関係	服飾・家政関係
総数	3,870 (100.0)	1,467 (37.9)	1,130 (29.2)	482 (12.5)	204 (5.3)	259 (6.7)	252 (6.5)	49 (1.3)	27 (0.7)
男	1,643 (100.0)	445 (27.1)	543 (33.0)	389 (23.7)	59 (3.6)	73 (4.4)	95 (5.8)	38 (2.3)	1 (0.1)
女	2,227 (100.0)	1,022 (45.9)	587 (26.4)	93 (4.2)	145 (6.5)	186 (8.4)	157 (7.0)	11 (0.5)	26 (1.2)

⑤ 入学者数(令和7年4月1日から同年5月1日までの入学者)は1,906人(うち就業している者635人)で、前年度より150人減少している。これを課程別にみると、高等課程45人(同18人)、専門課程1,262人(同19人)、一般課程599人(同598人)となっている。

また、専門課程入学者のうち、大学等卒業者は46人(大学37人、短期大学9人)となっている。

⑥ 卒業者数(令和6年4月1日から令和7年3月31日までの卒業者)は1,960人(うち就職者1,098人(在学中から引続きその職にある場合を含む。))で、前年度より230人減少している。課程別では、高等課程55人(同46人)、専門課程1,282人(同1,052人)、一般課程623人(同0人)となっている。

#### (4) 教員数及び職員数(表40)

① 教員数は1,355人(本務者345人、兼務者1,010人)で、前年度と同数である。

このうち男が721人(本務者154人、兼務者567人)、女が634人(本務者191人、兼務者443人)となっている。

② 職員数(本務者)は、173人(男79人、女94人)となっている。

表42 専修学校の課程別学科数及び生徒

(単位：学科・人)

区 分		計		昼 間		そ の 他	
		学科数	生徒数	学科数	生徒数	学科数	生徒数
総 数		74	3,870	68	3,798	6	72
工 業 関 係	専門課程	12	482	12	482	-	-
	土木・建築	1	36	1	36	-	-
	自動車整備	2	149	2	149	-	-
	情報処理	9	297	9	297	-	-
農 業 関 係	専門課程	1	49	1	49	-	-
	農業	1	49	1	49	-	-
医 療 関 係	高等課程	1	61	1	61	-	-
	准看護	1	61	1	61	-	-
	専門課程	20	1,406	19	1,344	1	62
	看護	7	715	6	653	1	62
	歯科衛生	2	175	2	175	-	-
	歯科技工	1	23	1	23	-	-
	はり・きゅう・あんま	2	94	2	94	-	-
	柔道整復	1	60	1	60	-	-
	理学・作業療法	6	295	6	295	-	-
その他	1	44	1	44	-	-	
衛 生 関 係	高等課程	2	11	1	11	1	-
	調理	2	11	1	11	1	-
	専門課程	4	248	4	248	-	-
	調理	1	57	1	57	-	-
	美容	2	152	2	152	-	-
	製菓・製パン	1	39	1	39	-	-
教 育 ・ 社 会 福 祉 関 係	専門課程	6	204	5	201	1	3
	保育士養成	2	28	1	25	1	3
	介護福祉	4	176	4	176	-	-
商 業 実 務 関 係	専門課程	8	252	8	252	-	-
	商業	1	45	1	45	-	-
	経営	4	152	4	152	-	-
	旅行	1	10	1	10	-	-
	ビジネス	2	45	2	45	-	-
服 飾 ・ 家 政 関 係	高等課程	1	2	1	2	-	-
	和洋裁	1	2	1	2	-	-
	専門課程	7	25	4	18	3	7
	和洋裁	7	25	4	18	3	7
文 化 ・ 教 養 関 係	専門課程	11	531	11	531	-	-
	デザイン	1	29	1	29	-	-
	動物	2	141	2	141	-	-
	法律行政	2	26	2	26	-	-
	その他	6	335	6	335	-	-
	一般課程	1	599	1	599	-	-
	受験・補習	1	599	1	599	-	-

## 8 各種学校

### (1) 学校数(表43)

- ① 学校数は14校で、前年度と同数である。  
 ② 学校数を設置者別にみると、私立14校（社団法人立6校、個人立8校）となっている。

表43 各種学校の設置者別学校数

(単位：校)

区分	計(私立)	準学校法人立	財団法人立	社団法人立	その他の法人立	個人立
令和3年度	14	-	-	6	-	8
4	14	-	-	6	-	8
5	14	-	-	6	-	8
6	14	-	-	6	-	8
7	14	-	-	6	-	8

### (2) 課程数

- ① 課程数は7課程で、課程別には准看護が6課程で最も多く、次いで音楽が1課程となっている。

### (3) 生徒数(表44, 図21)

- ① 生徒数は81人（男13人、女68人）で、前年度より9人減少（男3人減少、女6人減少）している。

表44 各種学校の現況

(単位：校・人)

区分	学校数	生徒数						教員数(本務者)			職員数(本務者)
		総数			うち昼間			計	男	女	
		計	男	女	計	男	女				
令和3年度	15	149	39	110	149	39	110	20	1	19	18
4	14	151	32	119	151	32	119	21	1	20	17
5	14	116	22	94	116	22	94	18	1	17	13
6	14	90	16	74	90	16	74	18	1	17	12
7	14	81	13	68	81	13	68	19	1	18	15

- ② 課程別にみると、准看護が72人（全生徒数の88.9%）で最も多く、次いで音楽9人（同11.1%）の順となっている。

男女別にみると、男は准看護が13人（男子生徒数の100.0%）のみとなっている。一方、女は准看護が59人（女子生徒数の86.8%）で最も多く、次いで音楽9人（同13.2%）の順となっている。

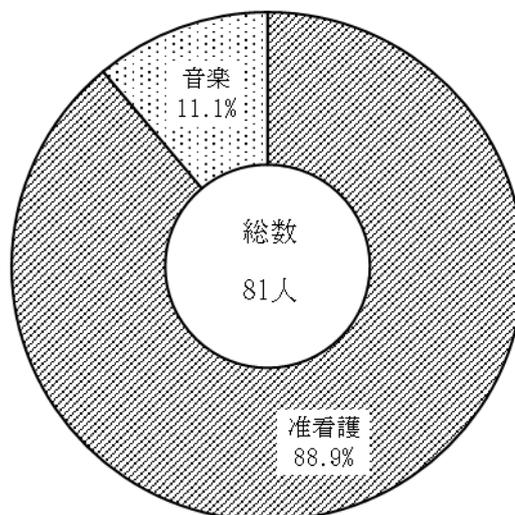
- ③ 修業年限別にみると、「修業年限1年未満の課程」の生徒数は11人（男4人、女7人）で、「修業年限1年以上の課程」の生徒数は70人（男9人、女61人）となっている。

④ 入学者数（令和7年4月1日から同年5月1日まで）は40人で、前年度より2人減少している。

⑤ 卒業者数（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）は34人で、前年度より20人減少している。

また、これを課程別にみると、准看護が34人（全卒業者の100.0%）のみとなっている。

図 21 各種学校の課程別生徒数の構成比



#### (4) 教員数及び職員数（表 44）

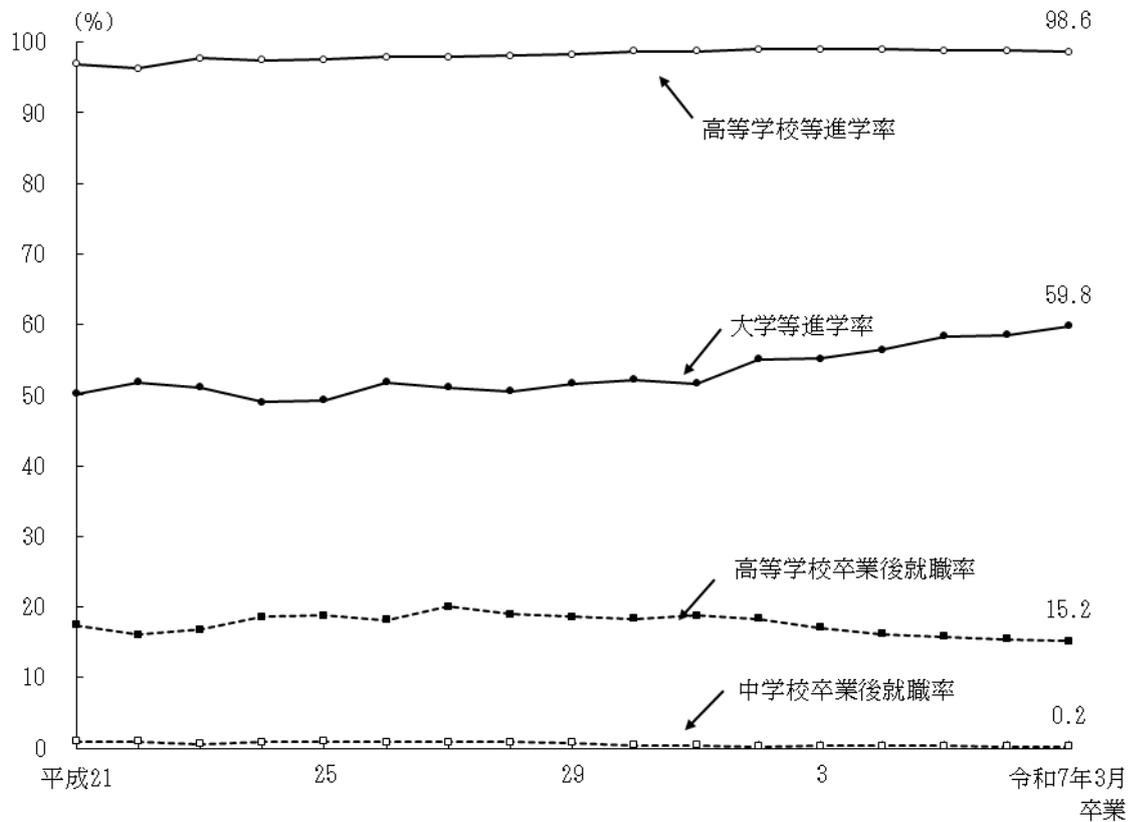
① 教員数は228人（本務者19人、兼務者209人）で、前年度より52人減少している。

このうち、男が119人（本務者1人、兼務者118人）、女が109人（本務者18人、兼務者91人）となっている。

② 職員数（本務者）は15人（男1人、女14人）で、前年度より3人増加（女3人増加）している。

## Ⅱ 卒業後の状況調査

図 22 卒業後の状況の推移（中学校・高等学校）



### 1 中学校卒業生

#### (1) 卒業生（表 45, 図 23）

- ① 令和7年3月の中学校卒業生数は8,365人（男4,282人、女4,083人）で、前年度より152人減少（男80人減少、女72人減少）している。
- ② 進路別内訳をみると、高等学校等進学者8,250人（卒業生数の98.6%）、専修学校等進学者・入学者3人（同0.1%）、就職者等30人（同0.4%）、左記以外の者82人（同1.0%）となっている。

図 23 中学校卒業後の状況別構成比

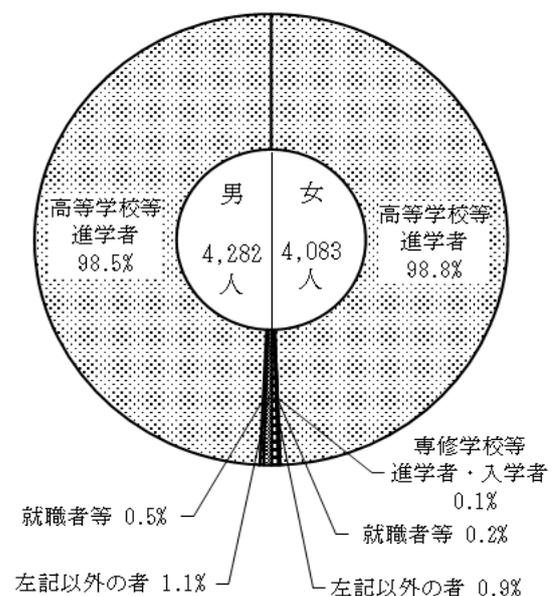


表 45 中学校卒業後の状況

(単位：人)

区 分	卒 業 者			高等学校等進学者 A			専修学校等進学者・入学者 B			専修学校 高等課程 進学者 (再掲)	専修学校 一般課程 等入学者 (再掲)	公共職業能力開発施設等入学者 C		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女			計	男	女
令和3年3月	8,480	4,231	4,249	8,397	4,178	4,219	12	5	7	7	5	-	-	-
4	8,525	4,306	4,219	8,440	4,257	4,183	6	5	1	4	2	1	1	-
5	8,552	4,371	4,181	8,447	4,309	4,138	8	1	7	7	1	-	-	-
6	8,517	4,362	4,155	8,415	4,295	4,120	10	5	5	1	9	1	1	-
7	8,365	4,282	4,083	8,250	4,217	4,033	3	-	3	1	2	-	-	-

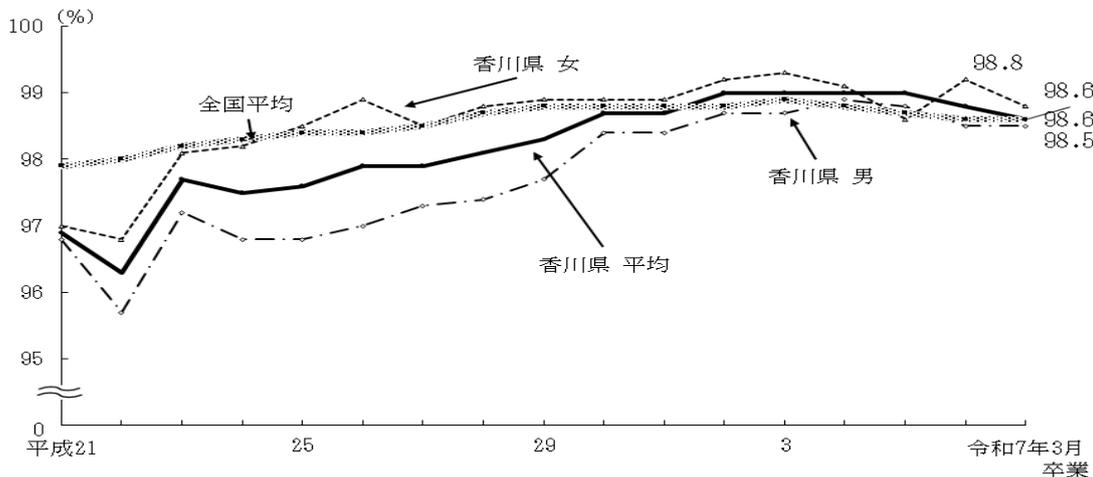
区 分	就 職 者 等					左記以外の者			不詳・死亡			左記A,B,C のうち 就職 している 者 (再掲)	左記有期雇用 労働者のうち 雇用契約 期間が一年以上、かつ フルタイム 勤務相当の者 (再掲)	就職者 (再掲)
	計	自営業主等	常用労働者		臨時労働者	計	男	女	計	男	女			
令和3年3月	29	14	8	1	6	40	26	14	2	2	-	1	1	24
4	21	9	10	-	2	57	28	29	-	-	-	4	-	23
5	33	13	15	-	5	63	36	27	1	-	1	-	-	28
6	17	8	7	1	1	74	44	30	-	-	-	-	-	15
7	30	10	7	3	10	82	45	37	-	-	-	-	1	18

注：①「高等学校等進学者」とは、高等学校の本科（全日制、定時制及び通信制）及び別科、中等教育学校後期課程の本科及び別科、高等専門学校、特別支援学校高等部の本科及び別科へ進学した者及び進学し就職した者である。  
 ②「専修学校等進学者・入学者」とは、専修学校高等課程へ進学した者及び進学し就職した者、専修学校一般課程または各種学校に入学した者及び入学し就職した者である。  
 ③「就職者等」のうち、「自営業主等」とは、個人経営の事業を営んでいる者及び家族の営む事業に継続的に本業として従事する者をいう。「常用労働者」のうち、「無期雇用労働者」とは、雇用契約期間の定めのない者として就職した者、「有期雇用労働者」とは、雇用契約期間が1か月以上で期間の定めのある者をいう。「臨時労働者」とは、雇用契約期間が1か月未満で期間の定めのある者をいう。  
 ④「就職者等」＝「就職者」ではないので注意が必要である。「就職者」とは、「自営業主等」、「無期雇用労働者」、「左記A,B,Cのうち就職している者（再掲）」、「左記有期雇用労働者のうち、雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者（再掲）」の計である。  
 ⑤「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の学校に入学した者、就職・進学状況が不明の者等である。

(2) 進 学 者 (表 45, 図 24)

- ① 高等学校等進学者（表45注①参照）は8,250人（男4,217人、女4,033人）で、前年度より165人減少（男78人減少、女87人減少）している。
- ② 高等学校等進学率は98.6%（男98.5%、女98.8%）で、前年度より0.2ポイント低下（男同率、女0.4ポイント低下）である。  
 また、全国平均は98.6%で、本県は全国第30位となっている。
- ③ 高等学校等進学者のうち県外への進学者は318人で、同進学者の3.9%となっている。

図 24 中学校卒業者の高等学校等進学率の推移



### (3) 就 職 者 (表 45, 図 25, 26)

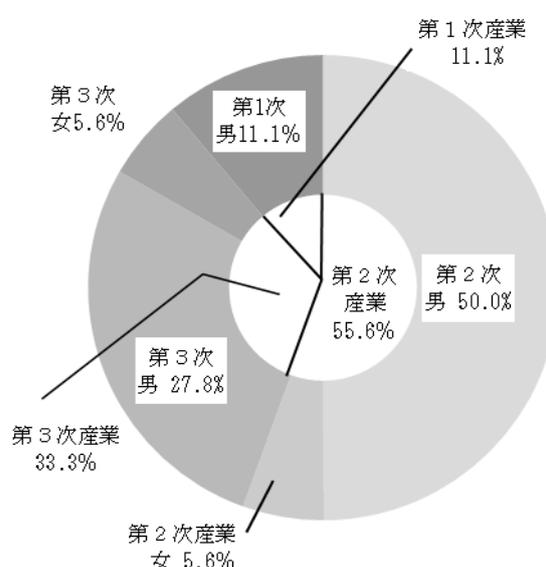
① 就職者（「就職者等」のうち、「自営業主等」及び「無期雇用労働者」、「有期雇用労働者のうち、雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者（再掲）」ならびに「高等学校等進学者、専修学校等進学者・入学者、公共職業能力開発施設等入学者のうち就職している者」を含む。）は18人（男16人、女2人）となっており、前年度より3人増加（男1人増加、女2人増加）している。

② 就職率（卒業者に占める就職者の割合）は0.2%（男0.4%、女0.0%）で、前年度と同率（男0.1ポイント上昇、女同率）となっている。

また、全国平均は0.2%で、本県は全国第8位となっている。

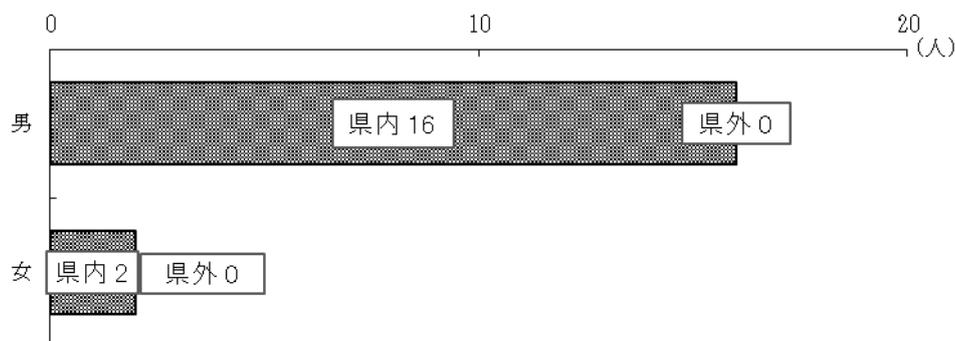
③ 産業部門別にみると、第2次産業（鉱業・採石業・砂利採取業、建設業、製造業）が10人（就職者数の55.6%）で最も多く、第3次産業（電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、金融業・保険業、不動産業・物品賃貸業、学術研究・専門・技術サービス業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、教育・学習支援業、医療・福祉、複合サービス事業、サービス業（他に分類されないもの）が6人（同33.3%）、第1次産業（農業・林業・漁業）が2人（11.1%）となっている。

図 25 中学校卒業者の産業別就職者の構成比



④ 就職先を県内・県外別にみると、県外に就職した者は0人で、前年度より4人減少（男4人減少）している。

図 26 中学校卒業者の県内外別就職者数



## 2 高等学校卒業者

### (1) 卒業者 (表 46, 図 27)

① 令和7年3月の卒業生数は7,478人(男3,762人、女3,716人)で、前年度より74人減少(男56人減少、女130人減少)している。

② 進路別内訳をみると、大学等進学者4,469人(卒業生数の59.8%)、専修学校等進学者・入学者1,376人(同18.4%)、公共職業能力開発施設等入学者65人(同0.9%)、就職者等1,153人(同15.4%)、左記以外の者413人(同5.5%)、不詳・死亡2人(同0.0%)となっている。

図 27 高等学校卒業後の進路別構成比

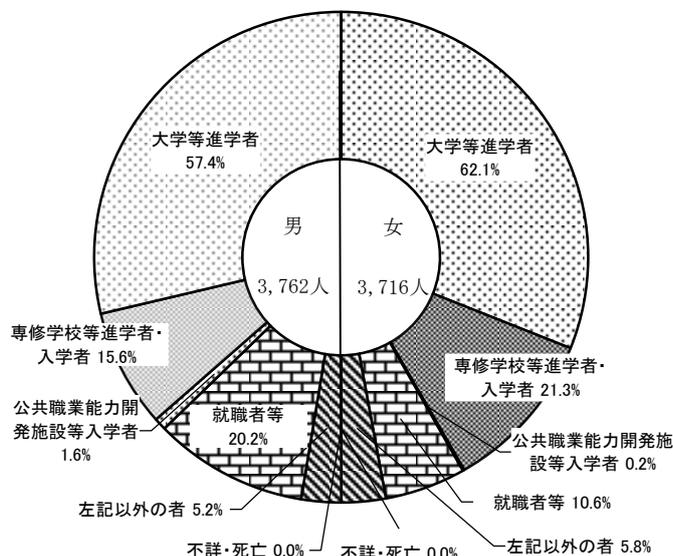


表 46 高等学校卒業後の状況

(単位：人)

区分	卒業生			大学等進学者 A			専修学校等進学者・入学者 B			専修学校 専門課程 進学者 (再掲)	専修学校 一般課程 等入学者 (再掲)	公共職業能力開発施設等入学者 C		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女			計	男	女
令和3年3月	8,437	4,306	4,131	4,658	2,234	2,424	1,917	881	1,036	1,471	446	96	89	7
4	8,069	4,072	3,997	4,556	2,154	2,402	1,823	823	1,000	1,435	388	78	71	7
5	7,988	4,039	3,949	4,661	2,259	2,402	1,670	698	972	1,315	355	89	85	4
6	7,552	3,706	3,846	4,419	2,079	2,340	1,571	673	898	1,219	352	70	64	6
7	7,478	3,762	3,716	4,469	2,160	2,309	1,376	586	790	1,108	268	65	59	6
区分	就職者等					左記以外の者			不詳・死亡			左記A,B,C のうち 就職 している 者 (再掲)	左記有期雇用 労働者のうち、 雇用契約 期間が一年以上、かつ フルタイム 勤務相当の者 (再掲)	就職者 (再掲)
	計	自営業主等	常用労働者		臨時労働者	計	男	女	計	男	女			
令和3年3月	1,462	53	1,345	48	16	304	165	139	-	-	-	-	44	1,442
4	1,322	40	1,214	53	15	290	141	149	-	-	-	-	53	1,307
5	1,278	41	1,223	3	11	290	143	147	-	-	-	-	1	1,265
6	1,181	23	1,136	4	18	311	144	167	-	-	-	-	2	1,161
7	1,153	18	1,120	2	13	413	197	216	2	1	1	-	-	1,138

注：①「大学等進学者」とは、大学(学部)、短期大学(本科)、大学・短期大学の通信教育部(正規の課程)及び放送大学(全科履修生)、大学・短期大学(別科)、高等学校(専攻科)及び特別支援学校高等部(専攻科)へ進学した者及び進学しかつ就職した者である。  
 ②「専修学校等進学者・入学者」とは、専修学校専門課程へ進学した者及び進学しかつ就職した者、専修学校一般課程・高等課程または各種学校に入学した者及び入学しかつ就職した者である。  
 ③「就職者等」のうち、「自営業主等」とは、個人経営の事業を営んでいる者及び家族の営む事業に継続的に本業として従事する者をいう。「常用労働者」のうち、「無期雇用労働者」とは、雇用契約期間の定めのない者として就職した者、「有期雇用労働者」とは、雇用契約期間が1か月以上で期間の定めのある者をいう。「臨時労働者」とは、雇用契約期間が1か月未満で期間の定めのある者をいう。  
 ④「就職者等」＝「就職者」ではないので注意が必要である。「就職者」とは、「自営業主等」、「無期雇用労働者」、「左記A,B,Cのうち就職している者(再掲)」、「左記有期雇用労働者のうち、雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者(再掲)」の計である。  
 ⑤「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の学校に入学した者、就職・進学状況が不明の者等である。

## (2) 進学者(表47,図28)

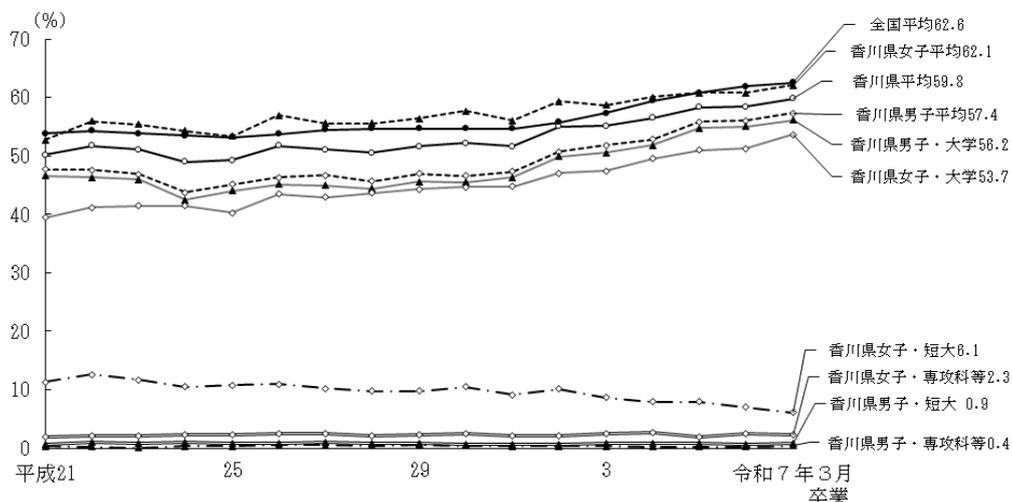
- ① 大学等進学者(表46注①参照)は4,469人(男2,160人、女2,309人)で、前年度より50人増加(男81人増加、女31人減少)している。
- ② 現役進学率(全卒業生数のうち大学等進学者の占める割合)は59.8%(男57.4%、女62.1%)で、前年度より1.3ポイント上昇(男1.3ポイント上昇、女1.3ポイント上昇)している。また、全国平均は62.6%で、本県は全国第16位となっている。
- ③ 大学等進学者を進学先別にみると、大学(学部)が4,110人(進学者数の92.0%)、次いで短期大学(本科)259人(同5.8%)、高等学校専攻科・その他100人(同2.2%)となっている。
- ④ 大学(学部)・短期大学(本科)への志願者数は5,307人(男2,715人、女2,592人)で、前年度より33人増加(男41人増加、女8人減少)している。
- ⑤ 大学(学部)への志願者数は5,047人(男2,682人、女2,365人)で、男が53.1%を占めている。
- ⑥ 短期大学(本科)への志願者数は260人(男33人、女227人)で、女が87.3%を占めている。
- ⑦ 志願率(全卒業生数に対する大学(学部)及び短期大学(本科)への志願者の占める割合)は71.0%(男72.2%、女69.8%)となっている。

表47 進学者内訳の推移

(単位:人)

区分	計	大学(学部)	短期大学(本科)	専攻科・その他
令和3年3月	4,658	4,144	400	114
4	4,556	4,094	348	114
5	4,661	4,230	347	84
6	4,419	4,015	297	107
7	4,469	4,110	259	100
内訳 男	2,160	2,114	32	14
女	2,309	1,996	227	86

図28 高等学校卒業生の大学等進学率の推移



### (3) 専修学校等進学者・入学者（表 48）

- ① 専修学校専門課程進学者数は1,108人（男409人、女699人）で、前年度より111人減少（男24人減少、女87人減少）している。
- ② 専修学校一般課程等入学者数は268人（男177人、女91人）で、このうち専修学校（一般課程・高等課程）入学者123人（男88人、女35人）、各種学校入学者145人（男89人、女56人）となっている。
- ③ 全卒業者数のうち専修学校等進学者数・入学者数の占める割合は18.4%で、前年度より2.4ポイント低下している。

表48 専修学校等進学者・入学者数

（単位：人）

区 分	総 数			専修学校専門課程 進 学 者			専修学校一般課程等入学者					
							専 修 学 校 一 般 課 程 ・ 高 等 課 程			各種学校		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
令和3年3月	1,917	881	1,036	1,471	588	883	195	121	74	251	172	79
4	1,823	823	1,000	1,435	568	867	198	121	77	190	134	56
5	1,670	698	972	1,315	470	845	228	142	86	127	86	41
6	1,571	673	898	1,219	433	786	169	112	57	183	128	55
7	1,376	586	790	1,108	409	699	123	88	35	145	89	56

### (4) 就 職 者（表 46, 図 29, 30）

- ① 就職者（「就職者等」のうち、「自営業主等」及び「無期雇用労働者」、「有期雇用労働者のうち、雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者（再掲）」ならびに「大学等進学者、専修学校等進学者・入学者、公共職業能力開発施設等入学者のうち就職している者」を含む。）は1,138人（男751人、女387人）で、前年度より23人減少（男10人増加、女33人減少）している。
- ② 就職率（卒業者に占める就職者の割合）は15.2%（男20.0%、女10.4%）で、前年度より0.2ポイント低下（男同率、女0.5ポイント低下）している。  
また、全国平均は13.7%で、本県は全国第33位となっている。
- ③ 産業部門別にみると、第2次産業が574人（就職者数の50.4%）で最も多く、次いで第3次産業546人（同48.0%）、第1次産業11人（同1.0%）、その他7人（同0.6%）となっている。
- ④ 職業別にみると、生産工程従事者が417人（就職者数の36.6%）で最も多く、次いでサービス職業従事者152人（同13.4%）、専門的・技術的職業従事者151人（同13.3%）等の順となっている。これを男女別にみると、男は生産工程従事者324人（男子就職者数の43.1%）、専門的・技術的職業従事者127人（同16.9%）、建設・採掘従事者68人（同9.1%）等の順になっている。女はサービス職業従事者104人（女子就職者数の26.9%）、生産工程従事者93人（同24.0%）、事務従事者87人（同22.5%）等の順になっている。

図29 高等学校卒業者の産業別就職者構成比

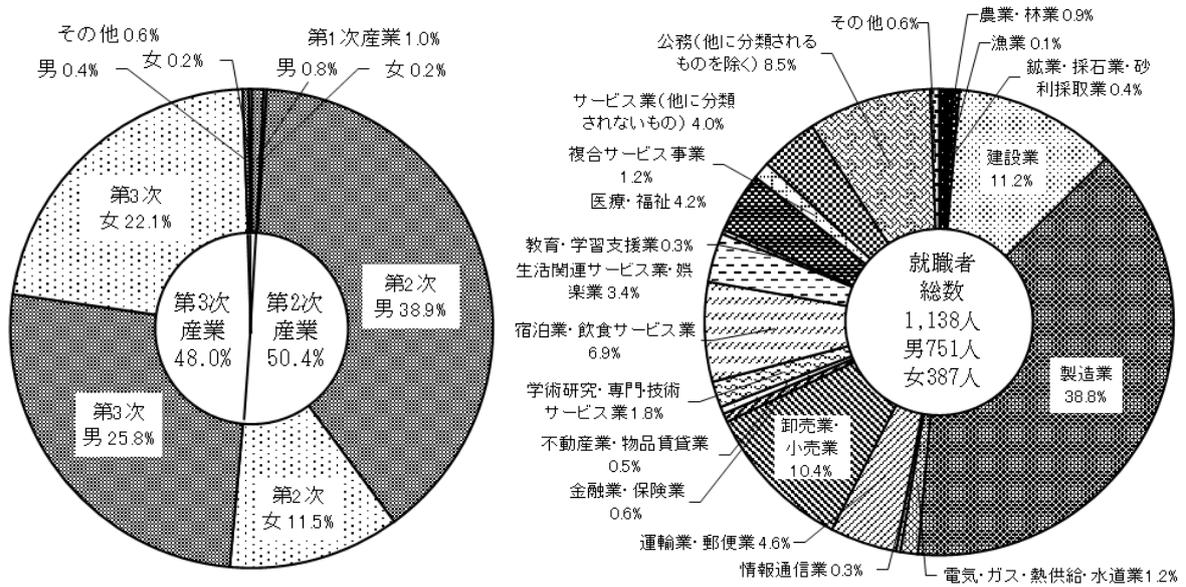
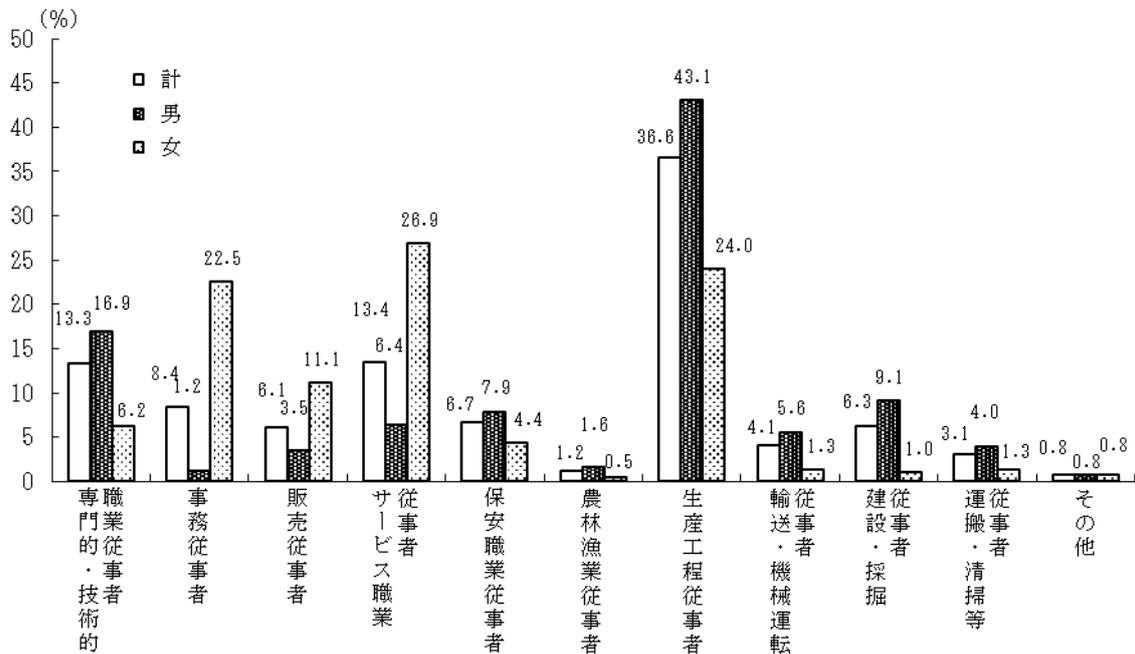


図30 高等学校卒業者の職業別就職者構成比



- ⑤ 就職先を県内・県外別にみると、県内就職者が966人(就職者数の84.9%)、県外就職者172人(同15.1%)となり、前年度より県内就職者の割合が0.3ポイント上昇している。
- ⑥ 県外就職先を都道府県別にみると、東京都が34人(県外就職者数の19.8%)で最も多く、大阪府が22人(同12.8%)、兵庫県が20人(同11.6%)等の順になっている。
- 男女別にみると、男が129人(県外就職者数の75.0%)、女が43人(同25.0%)で、前年度に比べ男が4人減少し、女が3人減少している。

### 3 特別支援学校（中学部・高等部）卒業者

#### (1) 中 学 部 (表 49)

- ① 令和7年3月の特別支援学校中学部の卒業生数は、104人（男63人、女41人）で、前年度より9人減少（男19人減少、女10人増加）している。
- ② 高等学校等進学者数は、101人（特別支援学校中学部卒業生数の97.1%）となっている。

表 49 特別支援学校（中学部）卒業後の状況

(単位：人・%)

区 分	卒 業 者			高等学校等進学者 A			専修学校等進学者・入学者 B			専修学校 高等課程 進学者 (再掲)	専修学校 一般課程 等入学者 (再掲)	公共職業能力開発施設等入学者 C			
	計	男	女	計	男	女	計	男	女			計	男	女	
計	104	63	41	101	61	40	-	-	-	-	-	-	-	-	
視覚障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
聴覚障害	3	-	3	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	
知的障害	76	50	26	75	49	26	-	-	-	-	-	-	-	-	
肢体不自由	10	5	5	9	4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	
病弱・身体虚弱	15	8	7	14	8	6	-	-	-	-	-	-	-	-	
区 分	就 職 者 等					左記以外の者			不詳・ 死亡	左記A、B、C のうち 就職 している 者 (再掲)	左記有期雇用 労働者のう ち、雇用契約 期間が一年以 上、かつ フルタイム 勤務相当の者 (再掲)	就職者 (再掲)	高等 学校等 進学率	就職率	
	計	自営業主等	常用労働者		臨時労働者	計	男	女							
計	-	-	-	-	-	3	2	1	-	-	-	-	-	97.1	-
視覚障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
聴覚障害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
知的障害	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	98.7	-
肢体不自由	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	90.0	-
病弱・身体虚弱	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	93.3	-

注：用語等については表45の注釈を参照

#### (2) 高 等 部 (表 50)

- ① 令和7年3月の特別支援学校高等部の卒業生数は、153人（男91人、女62人）で、前年度より22人増加（男11人増加、女11人増加）している。
- ② 大学等進学者数は、2人（特別支援学校高等部卒業生数の1.3%）となっている。
- ③ 就職者数は、28人（特別支援学校高等部卒業生数の18.3%）となっている。

表 50 特別支援学校（高等部）卒業後の状況

(単位：人・%)

区 分	卒 業 者			大学等進学者 A			専修学校等進学者・入学者 B			専修学校 専門課程 進学者 (再掲)	専修学校 一般課程 等入学者 (再掲)	公共職業能力開発施設等入学者 C		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女			計	男	女
計	153	91	62	2	1	1	-	-	-	-	-	1	1	-
視覚障害	4	2	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
聴覚障害	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
知的障害	123	71	52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
肢体不自由	12	9	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病弱・身体虚弱	12	8	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
区 分	就 職 者 等					左記以外の者			不詳・ 死亡	左記A、B、C のうち 就職 している 者 (再掲)	左記有期雇用 労働者のう ち、雇用契約 期間が一年以 上、かつ フルタイム 勤務相当の者 (再掲)	就職者 (再掲)	大学等 進学率	就職率
	計	自営業主等	常用労働者		臨時労働者	計	男	女						
計	32	-	26	6	-	118	69	49	-	-	2	28	1.3	18.3
視覚障害	1	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	1	50.0	25.0
聴覚障害	1	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	50.0
知的障害	29	-	23	6	-	94	53	41	-	-	2	25	-	20.3
肢体不自由	-	-	-	-	-	12	9	3	-	-	-	-	-	-
病弱・身体虚弱	1	-	1	-	-	10	6	4	-	-	-	1	-	8.3

注：用語等については表46の注釈を参照

### Ⅲ 不就学学齡児童生徒調査

#### 1 就学免除者（表51）

就学免除者は、学齡児童（6～11歳）、学齡生徒（12～14歳）とも0人となっている。

#### 2 就学猶予者（表51）

就学猶予者は、学齡児童が2人、学齡生徒が0人となっている。

#### 3 1年以上居所不明者及び死亡者（表51）

1年以上居所不明者は、学齡児童1人、学齡生徒0人となっている。

また、令和6年度間の死亡者は、学齡児童1人、学齡生徒は1人となっている。

表51 就学免除者・猶予者・居所不明者及び死亡者数の推移

(単位：人)

区 分	就学免除者			就学猶予者			1年以上居所不明者			死亡者（前年度間）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
令和3年度	-	-	-	-	-	-	2	1	1	4	2	2
4	-	-	-	-	-	-	2	1	1	2	2	-
5	-	-	-	-	-	-	3	2	1	4	1	3
6	-	-	-	2	2	-	2	1	1	2	2	-
7	-	-	-	2	2	-	1	1	-	2	-	2